

会長のページ 平成 24年度事業計画	稲倉 正孝	3
随 筆 救急車に乗る	谷口 二郎	4
エコー・リレー(441)	本部 浩一, 黒木 康雅	6
メディアの目 ふたりの歌人	阿部 浩明	7
国公立病院だより(独立行政法人国立病院機構都城病院)	小柳 左門	14
宮崎大学医学部だより(社会医学講座生命・医療倫理学分野)	板井孝吉郎	16
部会だより(学校医部会)	佐藤 雄一	17
診療メモ 医療現場でのスマートフォンの活用	山崎 友義	52

宮崎県感染症発生動向	8
各都市医師会だより(宮崎市郡医師会, 都城市北諸県郡医師会)	10
あなたできますか?(平成 22年度医師国家試験問題より)	18
各種委員会(公衆衛生・感染症委員会)	19
ベストセラー	19
都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会	20
日医 FAX ニュースから	22
医師国保組合だより	24
薬事情報センターだより(300) 新薬の薬価算定の基準	29
理事会日誌	30
県医の動き	35
追悼のことば	37
会員の異動・変更報告	38
ドクターバンク情報	41
行 事 予 定	45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	47
あ と が き	56



お知らせ 日州医事投稿についてのお知らせ	5
宮崎県医師会医療情報コーナー	21
平成 24年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	26
宮崎県医師会勤務医住宅ローンの融資利率改定について	36
第 13回宮崎県医師会医家芸術展作品募集!	40
クールビズについて	50
「はまゆう随筆」原稿募集	51
郡市医師会への送付文書	54

医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 油絵〕

わが家の野菜

病院の片隅の畑に人参の種を蒔きましたが、雨に流されなかなか芽をだしません。ある日、離れたところから新芽を見つけ、驚かされました。冬の寒さを乗り越え、大きく育った玉ねぎは新鮮で瑞瑞しくとても美味です。そのような畑に歩くことも困難な患者さんたちが、出てこられ農業指導がはじまります。皆笑顔で病気の事など忘れているようです。

宮崎市 おし かわ ち か こ
押 川 千賀子

会長のページ

平成 24年度事業計画

いな くら まさ たか
稲 倉 正 孝

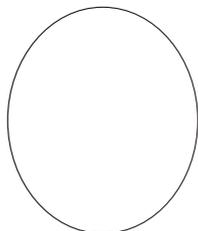
昭和 60年(1985年)の医療法改正で医療計画が法制化され、都道府県は医療計画を作成するようになった。宮崎県では、昭和 62年 8月に策定した「宮崎県地域保健計画 展望編」をはじめ、これまで 5 次にわたり保健医療計画を策定している。医療法の改定によって少なくとも 5 年ごとに目標の達成状況などについて、調査・分析及び評価を行うことになっている。前回の医療計画の期間は平成 20年度から平成 24年度までの 5 年間であり、来年度からは 2 期目とも言える都道府県地域医療計画が始まる。具体案は遅くとも年内には策定される予定である。

横倉義武日医新会長が就任所信表明で述べられているように、この 5 か年計画を、国・都道府県行政だけに任せるのではなく、各地区の医師会が主導して策定しなければならない。国が推進しようとする医療の機能分担・連携は、それぞれの地域の実情に応じて適切に対応していくべきである。ここに、地域医師会の役割がある。地域によって異なる医療需要・必要な医療提供体制をきめ細かく把握し、それを反映させた医療政策を行う必要がある。かゆい所に手が届くことが大切である。本格的な人口減少・少子高齢・核家族化社会を迎え、疾病構造の変化、医学・医術の進歩、医療の高度化・専門化、患者要求の高度・多様化など、医療を取り巻く環境は劇的に変化している。高齢化は医療需要を増大させ、医学・医療の進歩は医療費の高額化を伴う。限られた医療資源で質の高い医療サービスを効率的に提供していくことが求められている。県医師会では、新たにプロジェクト委員会を立ち上げて検討していく。

現執行部が 3 期目を迎えるにあたり、県医師会は本年度の重点項目として、下記の事項を掲げている。
(平成 24年 5月 1日)

1. 国民皆保険制度の堅持
2. 地域医療の充実
 - 1) 医師不足及び偏在の是正
 - 2) 看護職員不足の解消
 - 3) 安定した医業経営が可能な診療報酬の確保
 - 4) 地域医療連携の推進
 - 5) 在宅医療の推進
 - 6) 医療と介護の連携推進
 - 7) 宮崎県医療計画への積極的参加
3. TPP 参入阻止

随 筆



救急車に乗る

宮崎市 たにぐちレディースクリニック 谷 口 二 郎

産婦人科医の仕事は、365日、24時間何が起こるか分からない仕事である。その為いつ、何が起こっても良いように準備していなくてはならない。しかし色々準備していても予想外のことが起こる。

例えば、分娩の為に入院した妊婦のお腹の赤ちゃんの状態が突然悪くなり、緊急帝王切開が必要になったり、出産が終わりホッとしていると、産後の出血が多く、ショック状態になったりすることがある。そういう時はまず、自分で出来ること、例えば酸素を流したり、点滴から薬を投与したり、血圧を頻回に測ったりする。しかし、一人でやるのには限界がある。そこで手に負えない時は救急病院に搬送することになる。

まず救急病院に電話で経過を説明する。時には慌てていて、自分でも声が上ずっていたり、何を言っているのか分からないことさえある。とにかく状況をなるべく詳しく説明する。受け入れがOKということになれば、今度は救急車の依頼をする。これも慌てていると11番なのか119番なのか分からなくなるので、電話機の前に大きく「119」という紙が貼ってある。今の状況を伝え、とにかく早く来てもらうように要請する。

それでも、いつでも救急車が待機しているかというところという訳ではない。他の現場に向かっているのも、他の部署の救急車を手配してもらうこともある。普段は10分弱で到着するのであるが、そういう時は12,3分かかる。時間にして

は短い時間であるはずなのだが、やはり長く感じる。

連絡している間に、まず救急車の到着後の準備をしなくてはならない。入口の自動ドアを手動にし開け放ち、通路のイスなどの通行を妨げるものは全部どける。救急車の「ピーポーピーポー」というサイレンの音が聞こえると、玄関まで迎えに行く。救急車まで走って行き、タンカを担いで一緒に2階へ上がる。

原則的に私が必ず同乗していく。救急隊員と一緒にタンカに乗せ、一緒に運び、そのまま救急車に乗る。救急車内では脈拍、血圧などが測れ、デジタルで表示され異常がないことを確認しながら搬送する。

救急車に乗ると分かることだが、乗り心地が悪い。そこでいつも患者を手で支えている。エアマットがベッドの下に設置され、クッションになっているのであるが、道路によっては凸凹がひどい所があり、ジェットコースターみたいに飛びあがり、頭を天井にぶつけそうになることもある。

救急車のサイレンに気が付かない車もあり、前をノロノロ運転していると「そどこいて！」と叫びたくなる。一番恐ろしいのは交差点だ。赤色灯を点灯し、ピーポーピーポーという音を出しているのにもかかわらず、交差点に突っ込んで来る車がある。こちらは赤信号、相手は青信号なので、気がつかないで進入してくる車もあるが、中には明らかに無視して突っ込んでくる

車もある。そういう時は「ちゃんと停まってよ!!」と叫びたくなる。本当にマナーの悪い人も多いのだ。

最近それにも増して心配なのがお年寄りの運転している車。先日もコンビニの駐車場から急に飛び出して来てぶつかりそうになった。「危ない!」と叫びその車を見たら、シルバーマークをつけた車だった。

救急病院に到着すると、何とかここまで持ってくれたと安心すると、これで何とか助けられるという安堵の気持ちで一杯になる。

宮崎市内で平成 23年中の救急車が出動した回

数は、15,240回という。3分に1回ということになる。年々救急車の出動は増えていて、10年前に比べると3割増にもなっているという。その理由は高齢化で持病が悪化し、急に倒れたりする人が増加しているからだという。又、出動したのに搬送する必要がないと判断されたり、タクシー代わりに利用されたりすることも多いようだ。ちなみに救急車が駆け付けたのに緊急性がないと判断され、医療機関に搬送しなかったケースが1割近くもあるという。救急車は救急の時に呼んで欲しい。本当に命を助けなくてはならない人がおざなりにされない為にも。

日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などの投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

1. 字数は4,000字以内
写真・図（カラー印刷はできません）も歓迎しますが、これも含めて、上記以内になるようにお願いします（写真1枚は約300字に相当します）。
2. 原稿の採否、掲載月は広報委員会にご一任ください。
なお、編集の都合により、用字・句読点等について修正することがあります。
3. 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご連絡ください。
4. 投稿後の加筆修正はご遠慮ください。
5. ご投稿の原稿が他誌に掲載、または掲載中の場合はその旨お知らせ下さい。
6. 原稿は、メールの他、FAX、郵送等にも受け付けております。メールの場合はワードまたはテキスト形式で保存し、下記へお届けください（投稿項目、タイトル、ご氏名を明記してください）。なお、県医師会で原稿用紙を用意しておりますが、市販の原稿用紙やワープロ印字のものでも結構です。
7. 原稿の内容については、人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

宛 先： 宮崎県医師会広報委員会

E-mail: genko@m-iyazakimed.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

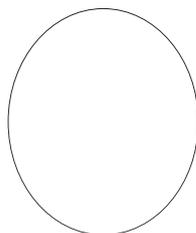
エコー・リレー

(44 回)

(南から北へ北から南へ)

最近がんばってること

宮崎市 ほんぶ整形外科 ほんぶ 浩一



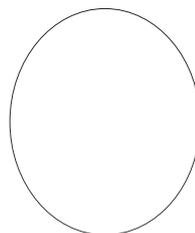
体重だけは順調に右肩上がりを続け、4、5年前からメタボ指導も受け、一昨年の健診でHbA1cがとうとう5.9まで上がりました。それでも空腹時血糖が正常範囲だったので、大丈夫とっていました。

ところがあるとき食後血糖を測ってみたところ、ショックなことに250を超えておりました。それから本気でダイエット生活を始めました。まずは往復1時間の自転車通勤と30分の筋トレ、カロリー制限です。それから自分用の血糖測定器を購入し、食後に血糖を測定してみることにしました。ところが、カロリー制限のみでは食後の血糖はなかなか下がらないことがわかりました。当直明けの質素な朝食後でも血糖値は200を簡単に超えていました。そのため今度は先輩のすすめで炭水化物をなるべく摂らない食事に変更しましたところ、血糖値はみるみる低下して、食後も110から140をキープできるようになりました。ある程度の量を食べても糖質さえ控えれば糖は上がらないことがやっとわかり、現在、朝昼はカロリー制限し、夜は糖質以外は食べ放題飲み放題です。ダイエットも楽になり、体重が減り始めるとさらに楽しくなり、何とか続けることができました。約1年で目標体重をクリアしHbA1cも5.4に低下しました。最近は白いお米が恋しい日々ですが、健康のため努力を続けたいと思っています。

[次回は、宮崎市の後藤 啓輔先生にお願いします]

感動甲子園の土と石

宮崎市 康雅メンタルクリニック 黒木 康雅



小学生の頃から高校野球が大好きでした。医者になりたての頃は、母校高鍋高校が強かったので、ポケットベルを持って、県営球場によく応援に行きました。宮医大皮膚科の諸先生方には大変御迷惑をおかけしました。この紙面を

借りてお詫び申し上げます。

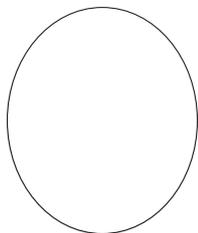
ところで今年のセンバツは、県内屈指の進学校である宮崎西高が初出場し、宮崎県全体が盛り上がりました。私もテレビの前で必死に応援しましたが、名門愛工大明電の前に、善戦空しく8対0で敗れました。試合後西高ナインが、もくもくと「甲子園の土」を袋に入れていた姿が印象的でした。

ところで「甲子園の土」に関して、とても感動的な話があります。1958年(昭和33年)の夏の大会に、沖縄代表として首里高校が初出場。善戦しましたが初戦で敗れ、沖縄に憧れの「甲子園の土」を持ち帰ろうとしました。しかし当時の沖縄はまだ日本返還前で、アメリカの領土であったため「甲子園の土は外国の土」とみなされ、せっかくの土が植物防疫法により、那覇港の税関で没収され、検疫官の手で海に捨てられてしまいました。

何とも残念な話ですが、この話には後日談があります。このニュースを聞いた日本航空の客室乗務員が「土が駄目でも、石ならば植物防疫法に引っかからない」と「甲子園の石」を袋に詰め、首里高ナインに贈ったそうです。この「甲子園の石」は、今でも友愛の証として、首里高校の記念碑にはめ込まれているとのこと。

[次回は、高鍋町の栗田 正弘先生にお願いします]

メディアの目



ふたりの歌人

朝日新聞宮崎総局長

あべひろあき
阿部浩明

日向市出身の若山牧水と、私の郷里、岩手出身の石川啄木が親友同士だったとは、実はつい数年前まで知らなかった。

啄木は日戸村(現・盛岡市玉山区日戸)の常光寺で生まれたとされている。実際、寺の中には「啄木の部屋」なる8畳の部屋が復元保存されている。住職の父一禎が^{しぶたみ}渋民村の宝徳寺に移るまで、啄木はこの常光寺で過ごした。

しかし、私が小学生のころ、道を挟んだ寺の向かいの親戚宅に遊びに行くと、今は亡きおばあさんがよく話していたのを覚えている。「本当はな、おらえ(わが家)で産まれたのよ」。昔は寺で出産するのは「不浄」とされたとかで、産気づいた母カツは急きょおばあさんの家に運ばれ、啄木を産んだのだと聞かされた。

そしておばあさんは決まって言うのだった。「啄木あ東京でたいした世話になった人が、九州さいるぞ(九州にいるらしいよ)」と。このときは気にも留めずにいたのだが……。

宮崎に赴任してくる前の東京で、同郷の詩人ゆかりの跡をめぐって歩いた。文京区小石川に「終焉の地」がある。今はマンションになっていて、その外壁に掲げられた都教委の標示板に「この地に移った啄木は、既に病魔に侵されていた。(中略)父一禎、妻節子、友人の若山牧水に看取られながら、結核により二六歳の若さで亡くなった」と記されていた。

そうか！おばあさんが話していた「九州の人」とは牧水のことだったのか、ここまで駆けつけてくれたんだあ、牧水さん、ありがとう……と妙に感激したものだ。啄木は歌人仲間としてはただ一人、臨終に立ち会ってくれた。しかも、薬も買えないほど困窮の淵にあった友のために奔走し、歌集「悲しき玩具」の出版契約にこぎつけたという。

啄木も啄木も、旅を愛し、故郷を愛した。

ふるさとの尾鈴の山のかなしさよ

秋もかすみのたなびきて居り(啄木)

かにかくに渋民村は恋しかり

おもいでのおもいで(啄木)

因縁浅からぬふたりなのに、「つながり」の薄さが残念でならない。たとえば、高校生が集って詠み競う「短歌甲子園」。盛岡市では今年7回目になり、日向市も昨年末に初めて同様の短歌大会を企画した。今はまだ個別の開催だが、若山牧水記念文学館は「今後は全県に、そして九州、全国へと参加の呼びかけを広げ、いずれは啄木と何らかの形で連携できれば」と将来像を描いている。

会場を持ち回りにするなど、宮崎と岩手の若い世代が互いに行き来できるようなイベントに育ったら素晴らしい。先輩歌人の取り持つ縁で、交流が深まっていくことを願う。

宮崎県感染症発生動向 ～ 3 月 ～

平成 24 年 2 月 2 日 ～ 平成 24 年 4 月 1 日 (第 9 週 ～ 13 週)

全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類 結核 27 例が報告された。保健所別報告数を【 図 1 】に示した。患者が 17 例，疑似症患者が 2 例，無症状病原体保有者が 8 例で，患者は肺結核が 9 例，肺結核と結核性胸膜炎の併発が 1 例，結核性胸膜炎や粟粒結核等のその他の結核が 7 例であった【 表 1 】。男性 16 例，女性 1 例で，年齢別報告数を【 表 2 】に示した。
- 3 類 報告なし。
- 4 類
 - デング熱：宮崎市保健所管内で 1 例報告された。20 歳代の男性で発熱，全身の筋肉痛，発しん，血小板減少などがみられた。インドネシアに渡航歴あり。
 - レジオネラ症：高鍋保健所管内で 1 例報告された。60 歳代の男性で，肺炎型。
- 5 類 報告なし。

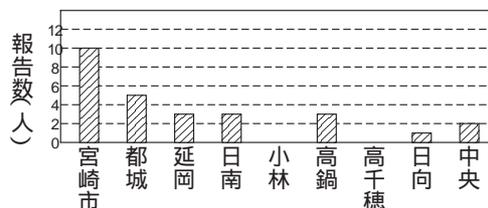


図 1 保健所別報告数(結核)

表 1 結核の病型及び報告数(人)

肺結核	9
肺結核及びその他の結核	1
その他の結核	7
疑似症患者	2
無症状病原体保有者	8

表 2 結核の年齢別報告数(人)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	3	2	2	4	5	7	3

5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 7,256 人(定点あたり 166.8)で，前月比 61% と減少した。また，例年と比べると 79% と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナ，RSウイルス感染症，咽頭結膜熱で，減少した主な疾患は，インフルエンザと手足口病であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はヘルパンギーナ，咽頭結膜熱，インフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は 3,790 人(64.2)で前月の約 4 割，例年の約 1.1 倍であった。小林(103.8)，都城(84.5)，延岡(80.3)保健所からの報告が多く，年齢別では 5 歳以下が全体の 37% ，6 ～ 9 歳が 27% ，10 ～ 14 歳が 18% ，15 ～ 19 歳が 2% ，20 歳以上が 16% を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は 129 人(3.6)で前月の約 1.7 倍，例年の約 9 割であった。日向(14.5)保健所からの報告が多く，年齢別では 2 歳以下が全体の 99% を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 114 人(3.2)で前月の約 1.4 倍，例年の約 1.3 倍であった。日南(17.7)保健所からの報告が多く，年齢別では 6 か月から 5 歳で全体の約 9 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 14 人(0.36)で前月の 14 倍，例年の約 1.6 倍と多かった。小林(1.3)保健所

病原体検出情報(微生物部)

検出病原体		件	臨床症状等
ウ イ ル ス	インフルエンザ B 型	1	・ B 型インフルエンザ疑い，39.2
	インフルエンザ AH 3 型	2	・ ウイルス性発疹，発疹，咳，鼻水 ・ インフルエンザ A ，38.2 ，倦怠感
	ライノウイルス	2	・ 不明の発疹症，上気道炎 ・ 呼吸器感染症，下気道炎(気管支炎)，多呼吸，低酸素血症，努力呼吸
細菌	劇症型溶血性レンサ球菌	1	・ 敗血症性ショック，DIC，急性腎不全

からの報告が多く、年齢別では6か月から2歳で全体の約8割を占めた。

月報告対象疾患の発生動向 3月

性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比107%と増加した。また、昨年3月(3.2)の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月の約1.1倍、前年の約8割であった。都城(3.0)保健所からの報告が多く、男性11人・女性10人で、30歳代が全体の約4割、20歳代が約3割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月及び前年の半数であった。すべて女性で、10歳代後半・20歳代・40歳代がそれぞれ1人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の2倍、前年と同数であった。男性・女性それぞれ1人で、30歳代であった。
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の1.5倍、前年の約8割であった。すべて男性で、20歳代と30歳代がそれぞれ3人であった。

【全国】定点医療機関総数 958

定点医療機関からの報告総数は3,794人(4.0)で、前月比108%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,953人(2.0)で前月比111%、性器ヘルペスウイルス感染症704人(0.73)で前月比109%、尖圭コンジローマ411人(0.43)で前月比109%、淋菌感染症726人(0.76)で前月比101%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は33人(4.7)で前月比157%と増加した。また、昨年3月(5.6)の約8割であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数28人(4.0)で、前月の約1.6倍、前年と同程度であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人(0.29)で、前月の約7割、前年の約3割であった。すべて5歳未満の報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告数3人(0.43)で前年と同数であった(前月は報告なし)。すべて70歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

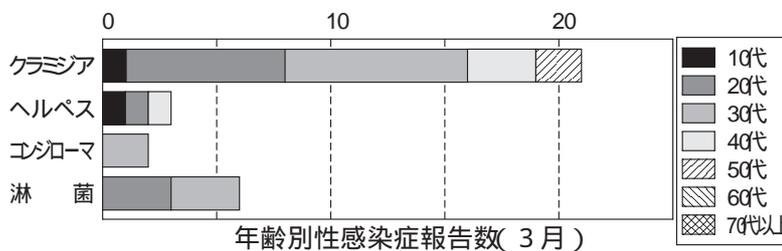
【全国】定点医療機関総数：469

定点医療機関からの報告総数は2,259人(4.8)で、前月比98%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,924人(4.1)で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症283人(0.60)で前月比95%、薬剤耐性緑膿菌感染症52人(0.11)で前月比138%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。
(宮崎県衛生環境研究所)

前月との比較

	3月		2月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	3,790	64.2	10,957	185.7	
RSウイルス感染症	129	3.6	78	2.2	
咽頭結膜熱	114	3.2	79	2.2	
溶レン菌咽頭炎	446	12.4	364	10.1	
感染性胃腸炎	1,721	47.8	1,628	45.2	
水痘	557	15.5	454	12.6	
手足口病	6	0.2	25	0.7	
伝染性紅斑	15	0.4	21	0.6	
突発性発しん	153	4.3	126	3.5	
百日咳	0	0.0	1	0.0	
ヘルパンギーナ	14	0.4	1	0.0	
流行性耳下腺炎	264	7.3	166	4.6	
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	34	5.7	24	4.0	
細菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
無菌性髄膜炎	2	0.3	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	6	0.9	9	1.3	
クラミジア肺炎	3	0.4	0	0.0	

例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



各郡市医師会だより

宮 崎 市 郡 医 師 会

会 長 かわ川 な名 たか隆 し司

平成 24 年 4 月より、中村典生前会長の後任として宮崎市郡医師会の舵取りを担うことになりました。宮崎県医師会員の皆様、宜しくお願いいたします。前執行部から 8 名が残り、新たに 7 名が加わりました。理事者 15 名の平均年齢は 55. 歳、皆やる気満々で燃えています。当会の目的は、定款にありますように「地域住民の健康の維持、増進に寄与すること」で、そのための施策が結果的に会員の先生のご診療に資することが大切であると認識しています。

今後、当会が取り組みたい最重要課題は、医師会病院を中心に当会の事業・機能を集約、統合することです。宮崎市大坪西 1 丁目にある事務局、看護学校、検診・検査センターと、新別府町にある医師会病院、夜間急病センター、小児診療所、地域包括支援センターを統合することは、ガバナンスの観点からも有益であり、お互いが別途所有する医療機器や検査機器、加えて職員の配置にも効率化が期待できます。医師会病院本館は、この 4 月で築 29 年目となり老朽化が進んでいます。また、海岸線から約 600m、海拔 3 m という立地は、県防災会議が想定する大規模な津波に被災した時、災害拠点病院の役割を継続し得るか疑問です。移転・新築した医師会病院を中心に当会の事業・機能を集約することの是非を、会員の先生と共に検討する時期に来ていると思います。

その他、大規模災害時における会員の先生と当会の連絡網、現行の救急医療体制の見直し、在宅診療ネットワークの構築等にも取り組みたいと考えています。公益社団法人への移行は、前執行部の時から準備を進めており、細かな事業セグメントの評価の問題はありますが、今年度中には目処がつきそうです。

地域医療や救急医療を効率的に機能させるためには、ステークホルダーたる宮崎県・市（官）、県・市郡医師会（民）、宮崎大学医学部（学）が情報を共有し、それぞれが目指すベクトルを一致させることが肝要であり、それによって、本県の限られた医療資源やマンパワーの有効活用が図れると思っています。

宮崎市郡医師会理事者

役員名簿（任期 平成24年4月1日～平成26年3月31日）

役職名	氏名	診療科	所属医療機関	担当業務
会長	川名 隆司	外科,消化器外科,小児外科,内科, 消化器内科,リハビリテーション科	川名クリニック	総括
副会長	済陽 英道	内科,消化器科, アレルギー科,外科, 整形外科,肛門科, リハビリテーション科	わたよう外科胃腸科	看護専門学校,地域保健(成人・介護)・ 地域医療(成人)医事紛争,庶務・在宅医・ 開業相談,社保・国保,会員福祉・共済・ 互助会・慶弔,労務
"	山村 善教	内科,神経内科, リハビリテーション科	山村内科	検診センター,検査センター, 地域包括支援センター,産業医,医師連盟, 医師会病院,地域医療(救急), 夜間急病センター,審査基準公開
"	高村 一志	小児科	たかむら小児 クリニック	学校保健,地域保健(母子・小児)・ 地域医療(小児),小児診療所,勤務医, 新臨床研修制度・医師確保,学術・健康教育・ 生涯教育,しのため,会員広報・情報システム, 会計
理事	菊池 郁夫	内科	県立宮崎病院	勤務医,新臨床研修制度,医師確保,学術・健 康教育・生涯教育,地域保健(母子・小児), 地域医療(小児),小児診療所
"	原田 雄一	内科,循環器内科	原田内科クリニック	検診センター,地域包括支援センター, 地域保健(成人・介護)・地域医療(成人), しのため,会員広報・情報システム
"	尾田 朋樹	整形外科,リウマチ科, リハビリテーション科	尾田整形外科 医院	医師連盟,会員広報・情報システム,医事紛争, 医師会病院,地域医療(救急)
"	市来 能成	内科,循環器内科,消化器内科	市来内科・外科 医院	庶務・在宅医・開業相談,医師会病院, 地域医療(救急),医師連盟
*	牛谷 義秀	外科,内科,消化器内科, 消化器外科,肛門外科,整形外科, リハビリテーション科,放射線科	クリニックうしたに	地域保健(成人・介護)・地域医療(成人), 県医師会(常任理事),地域包括支援センター, 新臨床研修制度,医師確保
*	神尊 敏彦	産婦人科	神尊産婦人科	医事紛争,労務,地域保健(母子・小児)・ 地域医療(小児),小児診療所,会員福祉・ 共済・互助会・慶弔,会計
*	田中 宏幸	内科,呼吸器内科,消化器内科, 循環器内科,小児科	神宮医院	社保・国保,夜間急病センター,しのため, 検査センター,産業医
*	首藤 謙二	精神科	野崎病院	会員福祉・共済・互助会・慶弔,産業医, 労務,勤務医
*	弘野 修一	内科,消化器内科	ひろの内科クリニック	看護専門学校,検査センター,審査基準公開, 学校保健
*	玉置 昇	内科	たまきクリニック	学校保健,会計,庶務・在宅医・開業相談, 検診センター,学術・健康教育・生涯教育
*	白尾 一定	外科,消化器外科,乳腺外科, 呼吸器外科,気管食道科	社会保険 宮崎江南病院	看護専門学校,審査基準公開,社保・国保, 夜間急病センター
議長	金丸 禮三	脳神経外科, リハビリテーション科,神経内科	金丸脳神経外科 病院	
副議長	谷村 俊次	整形外科,リハビリテーション科	谷村整形外科医院	
監事	中山 健	泌尿器科,皮膚科,アレルギー科	中山医院	
"	丸田 眞一	胃腸科,外科,内科,整形外科, リハビリテーション科,肛門科	丸田医院	
"	小村 幹夫	内科,消化器内科,外科, リハビリテーション科	小村医院	
顧問	黒水 啓一	皮膚科,泌尿器科	黒水医院	
"	河野 通	産婦人科	河野産婦人科医院	
"	綾部 隆夫	内科,循環器内科	綾部医院	

*は新任

各都市医師会だより

都城市北諸県郡医師会

会 長 いい 飯 だ 田 まさ 正 ゆき 幸

4 月より新執行部が発足し会長に就任いたしました。

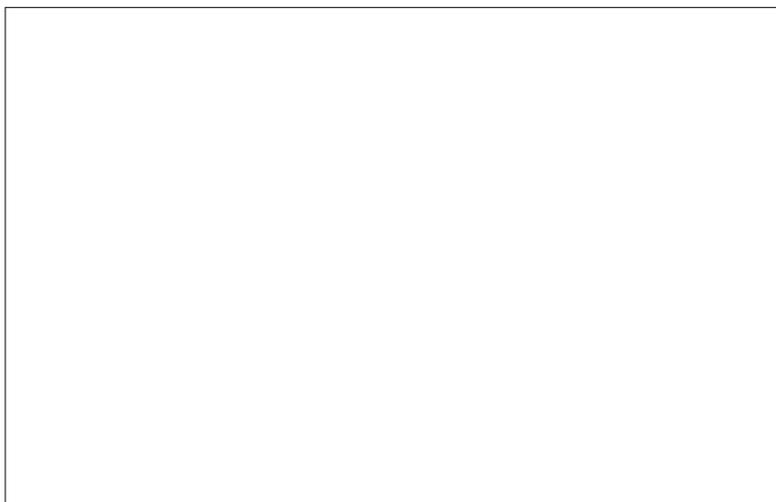
前執行部の三役の一人ではありますがここもとないので、副会長に佐々木・重平両先生（私と同じ還暦）、前執行部から田中先生（副会長）、長倉先生（総務理事）、理事に橋口先生、檜原先生、山路先生、木村先生、野田先生、吉松先生に残っていただき、新しく、山田先生、宇宿先生、丸田先生、山下先生、久保田先生、監事に引き続き大窪先生、坂元先生、前総務理事の田口先生、議長に前副会長の仮屋先生、副議長に濱田先生に就任いただき、私を支えていただく万全の体制ができあがりました。

前夏田康則会長および執行部の諸先生の下、社団法人都城市北諸県郡医師会は公益法人制度改革により一般社団法人都城市北諸県郡医師会へと移行しました。また、医師会病院・健康サービスセンター・救急センターの 3 施設の移転も基本設計が終了し、建設へのレールがしっかりと敷かれております。

診療報酬改定について、月刊保険診療 2012 年 1 月号に中医協診療側委員の安達秀樹先生から「財務省が勤務医と開業医の所得格差にからめて、病院勤務医対策等を診療所から病院への診療報酬付け替えで捻出しようとしている」という話題がありました。今回の改定では、薬価の減少分が技術料に充てられたようですがこのような改定をいつまでやるのでしょうか。公務員給与を減らし、医療・福祉に使うという発想はないのでしょうか。

日本医師会長に横倉先生が就任されました。日本医師会は公益法人となりますが、医師連盟との関係をどのようにするかが日本医師会の重要課題の一つとなると思います。政権政党だけでなく、医師会の考えに合致するなら全方位的に話をする方がよいのではないのでしょうか。

などと言うだけは簡単ですが、新執行部の力を借りてマイペースでやっていきます。今後とも都城市北諸県郡医師会をよろしくご願ひ申し上げます。



都城市北諸県郡医師会新役員

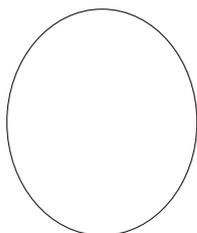
役員名簿（任期 平成 24年 4月 1日～平成 26年 5月の社員総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
* 会 長	飯田 正幸	麻酔科	飯田病院	会務総括 全施設総括 医師会病院総病院長, 渉外, 看護専門学校長, 病院部会
* 副会長	佐々木幸二	循環器科, 内科, 消化器科	佐々木医院	会務総括補佐 救急医療センター所長, 訪問看護ステーション所長 県医師会理事
* "	重平 正文	内科	しげひらクリニック	会務総括補佐 医師会病院長 渉外
* "	田中 穣次	内科	久保原田中医院	会務総括補佐 健康サービスセンター所長, すこやか苑副施設長 医師会病院担当副会長
* 総務理事	長倉 穂積	内科, 循環器科	長倉医院	総務 医師連盟 定款諸規程 自賠責 広報, 開業相談 医事紛争
理 事	橋口 兼英	小児科	はしくち小児科	学校保健・検診 乳幼児保健 学校医部会
"	檜原進一郎	皮膚科	ならはら皮膚科 医院	3施設移転(主) 医苑(主), 地域医療マスタープラン, 会計管理(総括)
"	山路 健	外科, 内科	山路医院	すこやか苑担当理事 介護保険(主), 福祉施設 救急医療センター副担当理事, 救急医療(副)
"	木村 健	消化器科, 循環器科, 呼吸器科, 外科	原田医院	訪問看護ステーション担当理事 スポーツ医学, 総務(副)
"	野田 俊一	産婦人科	野田医院	看護専門学校副校長(管理部長) 会員福祉, 苦情処理 労務福祉
"	吉松 正明	外科, 消化器科	吉松病院	医師会病院担当理事 医療保険 保険診療, レセプト査定対策
* "	山田 孝俊	内科, アレルギー科, リウマチ科	山田医院	学術生涯教育(主) 介護保険(副), 医師会病院副担当理事 健康教育(副)
* "	宇宿 修隆	内科, 消化器科, 胃腸科	宇宿医院	健康サービスセンター担当理事 公衆衛生, 成人病検診 救急医療センター副担当理事, 救急医療(副)
* "	丸田 祐司	消化器内科, 外科	ゆうクリニック	産業医部会 労災部会 地域産業保健センター, 3施設移転(副)
* "	山下 兼一	外科, 内科, 消化器科	山下医院	救急医療センター担当理事 救急医療, 災害・感染症対策 医師会病院副担当理事, 保険診療(副)
* "	久保田秀紀	眼科	くぼた眼科	勤務医部会 健康教育(主), 医療情報システム 学術生涯教育(副), 医苑(副) 労務福祉(副)
監 事	大窪 利隆	循環器科, 内科	おおくぼクリニック	
"	坂元 一久	胃腸科, 内科	坂元医院	
* "	田口 利文	循環器科, 内科	田口循環器科・ 内科クリニック	
* 議 長	飯屋 純人	内科, 循環器科	飯屋医院	
* 副議長	濱田 義臣	外科, 内科, 胃腸科	たかお浜田医院	

*は新任

国公立病院だより

独立行政法人 国立病院機構都城病院



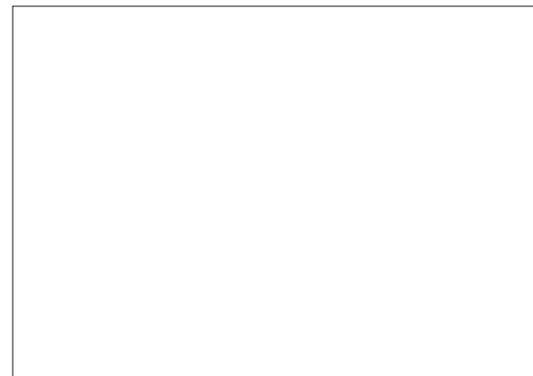
こやなぎ さもん
小柳 左門 病院長

日頃より当院の診療や運営にご協力を頂いている各位に、まずは御礼申し上げます。平成 19年の本誌に当院について紹介させていただいてから 5年になります。あらためてその後の当院をめぐる状況を紹介します。

当院は一般急性期病院として、地域の中心的施設として診療活動を提供してまいりましたが、戦後国立病院として発足以来今年で 66年となります。その前身である都城衛戍病院の創設からすると平成 2年 1月には 100年を迎え、地域の方々や諸先輩への感謝の意をこめて創立 100周年記念事業を行いました。

平成 17年に地域がん診療拠点病院に認定されましたが、昨年はあらためて再認定を受けることができました。県内では県立宮崎病院と当院の 2か所です。緩和医療の推進や教育事業、診療成果の報告など多くの義務が課せられますが、なんとかクリアすることができました。一昨年の秋からは市民の方々への啓発の意味を含めて行政などともタイアップし、がんに関する公開フォーラムを実施し、多くの市民の方々の参加を得ています。

また本年 4月からは、福岡大学のご厚意により呼吸器外科チームがあらたに赴任し、肺がんの胸腔鏡治療など最新の技術をもって活躍しています。肺がんは現在もっとも発症率が高い疾患であるにもかかわらず、発見の遅れなどもあって地域で大きな問題となっています。行政による検診事業などとも連携し、地域住民の健康のために皆様のご援助もお願いしたいと存じます。さらにがんについては各科において外科



治療、放射線治療、化学療法などを組み合わせた総合的医療を展開し、医療の質の向上に努めています。

また平成 20年には地域周産期母子医療センターに認定され、さらに平成 2年には地域医療支援病院にも指定されました。周産期医療については医師確保の問題など大きな障害がありますが、おなじく周産期医療拠点病院である藤元早鈴病院や医師会の先生方との連携によって、妊産婦が安心できるようなネットワークシステムを構築する試みが今年の春からスタートしました。これらの事業については宮崎大学病院長の池ノ上先生や産婦人科教授の鮫島先生の多大なご援助を受け、また県からの資金的な補助を受けることができました。一般地域医療については、医師会をはじめとした先生方、医師会病院をはじめとした地域施設に支えられ、お互いの役割分担を認めながらともに思いを寄せ合い、今後とも協力して参りたいと存じます。

私が赴任した平成 17年、病棟や外来管理棟、手術検査棟などは昭和 4年代初期の建設であり、建物全体の壁や床などが一部はげ、6人部屋の病床は手狭で事故のリスクもあり、プライバシーも保たれず、これでは患者さんの療養環境として不十分、職員にとっても大変だと思いました。どげんかせんと、という思いからさっそくプロジェクトを立ち上げましたが、資金面をはじめとした難題が次々とおこりました。しかしこれら医療施設の整備についても、この 5年間で飛躍的に伸展することができました。

まずは、平成 2年に病棟の全面建て替えが完成し、続いて給食棟、リハビリ棟も完成しました。病室もナースステーションも廊下も広々となり、明るく清潔な病棟になりました。個室もかつては少ししかなく、とくに重症の患者さん、一人きりになりたい患者さんなどに不便をかけたことが、思い切って多くの個室を作りました。ちょっと作りすぎたかな、という反省も実はあるのですが...

とくにターミナルの患者さんの看取りを家族でできることを願い、緩和ケア病室を 2床作りました。ベッドのそばに和室を設け、布団を用意して家族の方も泊まれるようにし、小さなキッチンもある広々とした特別室です。もしご希望の方があればどしどしお申込み下さい(費用も都市部に比べ格安です)。緩和以外の目的で入院されてもかまいません。

平成 23年春には、県内でも珍しい歯科口腔外科センターを立ち上げました。旧母子医療センターを改装し、診察室を拡大、地域の歯科の先生方とのカンファレンスなど交流を深めることのできるスペースも作りました。担当医が 3名おり、口腔外科の高度治療や交通外傷にも対応しますし、また今回の診療報酬改定でも重点項目となった口腔ケアができる体制を整えています。本センター設立には、地域医療再生基金にお世話になりました。

さらに平成 23年には、新しい放射線治療棟が完成し、増えているがん患者にも対応しています。マルチスライス CT も同時に導入致しました。

古くて狭かった手術室につきましてもようやく念願がかない、今年の 3月に新しい手術棟を完成させることができました。最新の設備を整えた広い手術室や準備室、広くて明るい廊下やスタッフルームなど一新し、スタッフも気持ちよく診療にあたれるようになりました。2階の手術棟の 1階部分には、産婦人科救急室と周産期医療連携室、およびこれも以前は狭くて作業が大変であった薬剤部と中央検査室が移転。増えていくがん化学療法などにも対応しています。

これができるのも、地域医療再生基金を国～県より補助していただいたお蔭でした。

以上の施設整備以外にも、昨年はオーダリングだけであった IT を全面的に電子カルテに移行。病院あげて導入に取り組みましたが、やはり最初は慣れないことが多く、システムへの理解が足らず、かなり大変でした。全職種で患者情報を共有でき、病院のあらゆるところからアクセスできるメリットがある反面、まだシステムとして未熟であり問題をはらみながら実施しています。

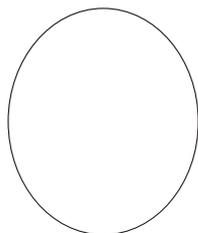
また今年からは DPC (包括医療制度) に参入。優秀な診療情報管理士のお蔭もあって、なんとかこぎつけましたが、経営上はこれから様々な改革をしていかなければなりません。しかし、まずは患者さんが安心してこそその病院ですので、むしろ医療者としてやるべきことを優先したいと思っています。

職員の充実が病院にとって最重要の課題ですが、看護師を大幅に増員して 7対 1 基準を取得し、医師負担軽減のために 1数名の補助職員を雇用いたしました。しかし何といたっても大きな問題は医師確保で、とくに内科についてはどの専門科も全く不足しています。血液疾患は当院の重要な柱ですが、ほとんど一人の医師で診療しています。無菌室など高度の設備は整えており、何とか最低一人でも来ていただけないかと願っています。生活習慣病をみる医師については皆無の状態ですし、他にも産婦人科、脳外科、整形外科、皮膚科など、もし適当な方がおられれば、是非ご紹介下さい。

当院は国立病院機構という独立行政法人に属していますが、厳しい財政や規制のなかで職員の意識を高めながら適切な医療を行うには限界があります。平成 26年度をめどに新しい医療法人をめざすことで閣議決定はなされたところですが、今から具体的な作業がはじまります。将来を見据えて、地域に信頼される病院をめざし、これからも邁進する所存です。皆様のご支援を心よりお願い致します。(小柳 左門)

宮崎大学医学部だより

社会医学講座 - 生命・医療倫理学分野 -



板井 孝彦郎 教授

当教室の前身は、宮崎医科大学であった平成 14 年 4 月、私が専任講師として着任しました折、基礎教育講座「哲学・倫理学」教室としてスタートし、平成 19 年に宮崎大学医学部となりました際、講座再編に伴って「社会医学講座生命・医療倫理学分野」となりました。その後、平成 22 年 4 月より、板井が初代教授として就任させて頂いております。未だ教授 1 名のみの弱小教室ではありますが、国内 80 か所の医学系大学を見渡した際、医学部の中に「生命・医療倫理」を専門とする専任教員を置いているところは、5 本の指程度にすぎない状況であることを鑑みますと、国内においてはこの領域がまだまだ発展途上にあることが看取できます。

その一方で、近年「医の倫理」をめぐる状況は大きく変貌し、生命科学研究や新薬開発、医師主導型臨床研究等における「研究倫理」の問題、そして終末期医療における延命治療の差し控え・中止や、遺伝子診断等をめぐる「臨床倫理」の重要性がますます注目されるようになっております。安全管理業務や医療の質向上など、病院機能評価をはじめとする医療マネジメントを考える上でも、今や「倫理」は欠かせない時代となりました。もはや、ただひたすらに「患者のために」というモラル意識や善意から、医療従事者が“粉骨砕身、懸命に身を捧ぐ”という姿勢だけでは対応しきれない「倫理的問題」が頻発している

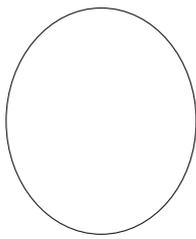
状況です。そうした中、日本医師会「医師の職業倫理指針」や厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針」をはじめ、倫理的問題に関する様々なガイドラインが各省庁や学会レベルでも多数提示されるようになりました。しかし、それらを一読しただけでは、法的・倫理的トレーニングを一定程度受けていないと抽象的すぎてよくわからないという事態も生じています。

「いったいどうすれば良いのか...！」と“苦悶に満ちた”とさえ言えるような倫理的ジレンマに遭遇した医療スタッフを支援する「倫理コンサルテーション」を担う人材育成は、欧米諸国では 2000 年以降急速に普及しつつある一方で、日本国内では極めて不十分なままであると言わざるを得ません。質の高い臨床研究や良質な医療を遂行する上では、生物統計学的・医科学的側面だけでなく、法的・倫理的側面に対する十全な配慮を行うことが強く求められており、「生命・医療倫理」に精通した専門職による研究支援・医療支援が不可欠となってきています。そうした総合的な「倫理支援体制」の整備と、それを担う人材育成は、当教室の今後の大きな課題であり、使命であると痛感しております。

その手始めとして、従前から医学部には臨床研究プロトコルを審査する「医の倫理委員会 (Research Ethics Committee)」は設置されておりましたが、それとは別に、本年度 4 月より附属病院に「臨床倫理委員会 (Clinical Ethics Committee)」を新設することとなり、病院職員が倫理的問題に遭遇した際には、「臨床倫理コンサルテーション・チーム」を編成し、できる限り迅速な支援を行うという活動を、本教室が中心的な担い手となって実施することとなりました。今後もさらに一層の「倫理支援体制」の充実に向けて尽力して参る所存です。(板井 孝彦郎)

部会だより

学 校 医 部 会

いなくら まさたか
稲倉 正孝 部会長

宮崎県医師会学校医部会は、稲倉部会長の下に51名の会員から構成されており、役員は各都市医師会から選出された理事を中心に構成されています。また、学校医部会と関連して各都市医師会から推薦された18名の委員

で構成されている学校検診委員会があります。

学校医部会は、児童生徒の健康診断、心臓・腎臓検診、精神保健、学校医部会員の研鑽など17の事業計画をあげて活動しています。

平成23年度の主な事業としては、8月6日、7日に、大分県医師会担当で「環境の変化とからだ - いま、学校現場に何を求められているのか」をメインテーマに、九州ブロック学校保健・学校医大会、九州学校検診協議会が開催されました。心臓、腎臓、小児生活習慣病、運動器の各部門および耳鼻科、眼科の講演等のほか、シンポジウム等が行われ、本会役員をはじめ各都市医師会の先生方からも参加をいただきました。

8月2日には学校医部会総会・医学会を行い、特別講演として「宮崎県の児童生徒の不登校の現状と対応」と題し宮崎県教育委員会学校政策課の深江祐史指導主事に、「トラウマを体験した子どもの心のケア」と題し武蔵野大学人間関係学部教授の藤森和美先生にご講演いただき、学校医や養護教諭等70名の参加がありました。

10月29日には、静岡県医師会担当で『学校医』我々にできること～子ども達の健やかな体とゆたかなこころを育むために～をメインテーマに、全国学校保健・学校医大会が開催され、各分科会およびシンポジウム等が行われました。本年度は11月10日に熊本県医師会担当で開催されますので、ぜひご参加ください。

児童生徒の心臓・腎臓検診については、各都市医師会からの検診結果を本会で集計しており、順調に行われています。集計結果は、県医師会

医学会誌にも掲載されますのでご確認ください。また、九州学校検診協議会では現在、小児生活習慣病の検診体制整備を進めており、平成23年度より尿糖陽性者の把握に九州全体で取り組んでいます。宮崎県でも検診体制整備を進めているところですので、各都市医師会の先生方のご協力をお願いいたします。

予防接種に関して、特に麻しん対策については、平成20年から5年間限定で中学校1年生、高校3年生への予防接種を実施していますが、本年が最終年度となりました。接種率向上のため、県健康増進課や県教育委員会、各学校と協力し生徒・保護者へ働きかけをしています。また、現在子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン予防接種が補助事業として実施されていますが、他の新たなワクチン(B型肝炎、水痘、流行性耳下腺炎等)を含め、予防接種で防げる病気から子どもたちを守るために、国などに定期接種化を働きかけています。

近年の社会を取り巻く環境の悪化・生活様式の変化などにより、メンタルヘルスに関する問題やアレルギー疾患を抱える児童生徒等の増加、児童生徒が被害者となる事件・事故・災害等の発生、食育の問題などの多くの問題が取り沙汰されています。昨年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの子どもたちが犠牲となり、現在もなお、震災後のストレスにより心のケアを必要とする子どもたちや、福島第一原発事故による放射能汚染により大きな影響を受けている子どもたちが多くいます。学校医と学校、保護者間が連携をとり、子どもたちや保護者、学校現場等に正しい知識を伝えることが、今後ますます重要になってくると考えております。

学校保健については、児童・生徒の健康管理という極めて重要な位置づけにございますので、今後とも先生方のお力添えをいただきたいと思います。
(常任理事 佐藤 雄一)



あなたできますか？

平成 22 年度 医師国家試験問題より

(解答は 55 ページ)

- 肺癌の縦隔リンパ節転移によって起こる症候はどれか。
 - 血胸
 - 頻脈
 - 散瞳
 - 胸やけ
 - 顔面浮腫
- 胸部エックス線写真で結節影を認める疾患はどれか。2 つ選べ。
 - 肺クリプトコックス症
 - 癌性リンパ管症
 - 肺血栓塞栓症
 - 肺動静脈瘻
 - 肺胞蛋白症
- 55 歳の男性。腹部不快感を主訴に来院した。2 か月前から右下腹部の不快感を間欠的に自覚していた。腹部の視診と聴診とに異常を認めない。右下腹部に、腹筋の緊張時には触知しないが、弛緩時には 5×4 cm 大の腫瘤を触知する。腫瘤は弾性硬で圧痛はなく、拍動を認めない。

最も考えられるのはどれか。

 - 腸重積症
 - 上行結腸癌
 - 腹部大動脈瘤
 - 腹壁デスマイोट
 - 腹壁癒痕ヘルニア
- 68 歳の男性。呼吸困難を主訴に来院した。最近労作時の息切れを自覚するようになっていた。午前 3 時ころから息苦しくなり泡沫様の痰を喀出し、臥位をとれなくなったため救急外来を受診した。夏の暑さのため食欲はないが、麦茶を多飲している。尿量は保たれているという。60 歳時に心筋梗塞の既往がある。意識は清明。呼吸数 22 分。脈拍 104 分、整。血圧 116/70 mmHg。頸静脈の怒張を認める。四肢末梢に冷感を認めない。両側肺野に coarse crackles を聴取する。心尖部に音を聴取する。右肋骨弓下に肝を 4 cm 触知する。経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO_2) 89% であったが、酸素吸入によって SpO_2 は 96% まで上昇した。

治療薬として最も適切なものはどれか。

 - 去痰薬
 - 利尿薬
 - 鎮静薬
 - 抗菌薬
 - 血管拡張薬
- 35 歳の男性。2 週間からの悪寒、発熱および下痢を主訴に来院した。6 か月前と 2 か月前とに発熱を伴う気管支炎を発症し、自宅近くの診療所にて抗菌薬投与を受け 1 週間程度で軽快した。体重が 6 か月で 10 kg 減少した。8 年前に海外渡航歴がある。意識は清明。身長 168 cm、体重 50 kg。皮膚、口唇および口腔粘膜は乾燥し、舌と口腔粘膜に白苔を広汎に認める。腹部は平坦で、全体に軽度の圧痛を認めるが、筋性防御は認めない。血液所見 赤血球 56 万、Hb 16.0 g/dl、Ht 48%、白血球 12,200 好中球 7%、好酸球 5%、好塩基球 1%、単球 12%、リンパ球 5%、血小板 34 万。CRP 12.3 mg/dl。

初期の対応として適切なものはどれか。3 つ選べ。

 - 輸液
 - 抗菌薬投与
 - 抗真菌薬投与
 - 抗 H IV 薬投与
 - 無菌室への入室
- 疾患と放射線治療の組合せで誤っているのはどれか。
 - 転移性脳腫瘍 — 定位放射線治療
 - 上咽頭癌 — 強度変調放射線治療
 - 喉頭癌 — 密封小線源治療
 - 甲状腺癌 — 放射性同位元素内用療法
 - 皮膚癌 — 電子線治療
- 左心不全でみられる身体所見はどれか。
 - 頸静脈怒張
 - 呼吸性喘鳴
 - 下腿浮腫
 - 肝腫大
 - 腹水
- 開発途上国の保健医療について誤っているのはどれか。
 - 成人 H IV 感染率はサハラ以南アフリカが最も高い。
 - 5 歳未満児死亡率はこの 20 年で横ばいである。
 - 肺炎は 5 歳未満児の 3 大死因の一つである。
 - 乳児の下痢には母乳の継続が有効である。
 - マラリアの予防には蚊帳が有効である。
- 免疫グロブリンで 2 量体を形成するのはどれか。
 - IgA
 - IgD
 - IgE
 - IgG
 - IgM
- 抗癌化学療法が原因となる二次性悪性腫瘍はどれか。
 - 肺癌
 - 胃癌
 - 白血病
 - 肝細胞癌
 - 腎細胞癌

各種委員会

公衆衛生・感染症委員会

と き 平成 24年 3月 16日(金)

と ころ 県医師会館

県が新型インフルエンザ対策行動計画を改定するのに合わせ、県健康増進課に委員会に出席をしていただき、改定内容の説明を受けた。宮崎県新型インフルエンザ対策行動計画について

国が新型インフルエンザ行動計画を平成 23年 9月に改定したことを受け、また、平成 24年に発生した新型インフルエンザ(H1N1)の経験を踏まえて改定(案)を作った。対策の基本的な考え方は、県内の患者発生を遅らせ、流行のピークをなるべく後ろにずらし、医療体制の整備やワクチン接種の時間を確保すること。ピークを小さくし医療体制への負担を軽減すること。医療提供体制の強化を図り患者が適切な医療を受けられるようにし、健康被害を最小限にすること

である。今回の主な変更点は、国内で患者が発生した「国内発生早期」として対応していた段階を、「県内未発生時期」、「県内発生早期」と2つの段階に分け、対応を細分化したこと。「発熱外来」という名称をやめ、「帰国者・接触者外来」としたこと、サーベイランスを強化したことなどである。

説明を受け委員からは、平成 24年の新型インフルエンザの経験を踏まえ、臨時休校のタイミングや医療体制、予防接種体制、検査体制、備蓄薬等について意見、要望を伝えた。

出席者 - 岡山委員長、黒田副委員長、原田・田中・石内・中島・岩見・峰松・三宅委員

県健康増進課 - 和田課長、日高感染症対策室長、林副主幹、本井主査
(県医) 河野副会長、吉田・佐藤常任理事、峰松理事(重複)、小川課長、久永課長補佐

4月のベストセラー

1 舟を編む	三 浦 しをん	光 文 社
2 財政恐慌 ついに金融と財政の死に至る無限ループに突入した	浜 矩 子	徳 間 書 店
3 聞く力 心をひらく 35のヒント	阿 川 佐和子	文 藝 春 秋
4 大往生したけりゃ医療とかかわるな 「自然死」のすすめ	中 村 仁 一	幻 冬 舎
5 異性	角 穂 田 光 代 弘	河 出 書 房 新 社
6 この国で起きている本当のこと	辛 坊 治 郎	朝 日 新 聞 出 版
7 20歳若く見えるために私が実践している 100の習慣	南 雲 吉 則	中 経 出 版
8 人間の基本	曾 野 綾 子	新 潮 社
9 ナミヤ雑貨店の奇蹟	東 野 圭 吾	角 川 書 店
10 日本人の宝	竹 塩 田 沼 恒 泰 潤	P H P 研 究 所

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎(0985) 23-7077

都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会

と き 平成 24 年 3 月 7 日(木)

ところ 日本医師会館

日医中川副会長より次のとおり挨拶があった。平成 24 年 4 月の介護報酬改定率はプラス 1.2% であり、うち在宅が 1.0%、施設が 0.2% であった。しかし、介護職員処遇改善交付金分として 2.0% の財源が必要であり、また地域区分の見直しの影響も考慮すれば、プラスとなった数字からは見えない厳しい改定であったと感じている。更なる高齢化が進むわが国では、地域で高齢者を支える仕組み作りが必要である。今回の報酬改定においても、地域包括ケアシステムの基盤強化を図ることが大きな柱と謳われている。また、6 年ぶりの同時改定であることから、医療と介護の役割分担連携強化が大きな目玉として打ち出されている。

介護報酬処遇改善交付金については、今年度末で終了し加算が創設される。経営状況が厳しい施設もあると思うが、人材確保、処遇改善は、介護サービスの質の向上につながり、高齢者の安全・安心につながるため引き続きご尽力いただきたい。

1. 介護報酬改定等について(平成 24 年度 4 月実施) 日本医師会常任理事 三上裕司
今回の介護報酬改定の経緯、主な変更点について説明があった。

介護報酬改定は約 1 年をかけて作業を行っている。4 月に社会保障審議会介護給付費分科会が開催され、震災対応と同時に今後の方向性が示された。処遇改善や地域区分、施設・居宅サービスの新たな定期巡回随時対応サービスや訪問看護と小規模居宅介護の複合型サービス等について夏までに一順目の検討を行った。夏ごろに関係団体のヒアリングをし、秋

に二順目の検討を行った。この間、6 月 30 日に社会保障と税の一体改革の成案が出され、12 月 21 日に介護報酬の改定率 1.2% のプラス改定が決定した。最終答申が 1 月 25 日に出された。

平成 24 年度介護報酬改定の基本的な方針としては、地域包括ケアシステムの基盤強化、医療と介護の役割分担・連携強化、認知症にふさわしいサービスの提供、質の高い介護サービスの確保、処遇改善等を通じた介護人材の確保があげられる。

改定率については、もともと 2% の処遇改善交付金があるので、2% プラスでも実際はプラスマイナス 0% であると主張してきたが、物価が下がっているということで、0.8% 引き下げられ 1.2% となった。

2. 平成 23 年度介護報酬改定について

厚生労働省老健局老人保健課長 宇都宮啓
介護保険制度を取巻く状況、改定のポイント、サービス毎の改定の概要の説明があった(サービス毎の改定の概要については、3 月 19 日に宮崎県医師会館において復講を開催し説明をしたので割愛する)。

2055 年には 75 歳以上高齢者の割合が 29% を超え、生産年齢 3 人で 1 人を支える人口構造が、1 人が 1 人を支える構造へととなっていく。そういう状況の中でも年金、介護、医療の制度を維持していくため、少しずつ改革を加えていかなければならない。東日本大震災をはじめ厳しい条件の中で最善の改定をしたつもりである。

平成 24年度介護報酬改定のポイントについて

1. 在宅サービスの充実と施設の重点化

中重度の要介護者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるようなサービスの適切な評価及び施設サービスの重点化。

- ・日中・夜間を通じた定期巡回・随時対応サービスの創設(新サービス)
- ・複合型サービス(小規模多機能+訪問看護)の創設(新サービス)
- ・緊急時の受入の評価(ショートステイ)
- ・認知症行動・心理症状への対応強化等(介護保険3施設)
- ・個室ユニット化の推進(特養, ショートステイ等)
- ・重度化への対応(特養, 老健, グループホーム等)

2. 自立支援型サービスの強化と重点化

介護予防・重度化予防の観点から, リハビリテーション, 機能訓練など自立支援型サービスの適切な評価及び重点化。

- ・訪問介護と訪問リハとの連携の推進

・短時間型通所リハにおける個別リハの充実(通所リハ)

- ・在宅復帰支援機能の強化(老健)
- ・機能訓練の充実(デイサービス)
- ・生活機能向上に資するサービスの重点化(予防給付)

3. 医療と介護の連携・機能分担

診療報酬との同時改定の機会に, 医療と介護の連携・機能分担を推進。

- ・入院・退院時の情報共有や連携強化(ケアマネジメント, 訪問看護等)
- ・看取りの対応の強化(グループホーム等)
- ・肺炎等への対応の強化(老健)
- ・地域連携バスの評価(老健)

4. 介護人材の確保とサービスの質の向上

- ・介護職員処遇改善加算の創設
- ・人件費の地域差の適切な反映
- ・サービス提供責任者の質の向上

出席者 - 立元・石川常任理事, 久永課長補佐

宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では, 分かりやすい医療や介護の本, 闘病記のほか, 難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので, お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索, ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間 月～金曜日 10:00～19:00, 土曜日 10:00～18:00

休館日 日曜・祝日, 12月29日～1月3日, 8月14～15日, 特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地

TEL 0985-22-5118 E-mail tosho@miyazakimed.or.jp

日医 FAX ニュースから

都道府県医にシンクタンク機能を 横倉新会長

横倉義武新会長は 4 月 4 日の定例会見であらためて所信を述べ、「継続と発展，変革で臨みたい」と基本姿勢を強調し，地域医療を再構築する重要性を訴えた。地域医療の現状を吸い上げる体制づくりについては「都道府県医師会に地域医療のシンクタンク機能をお願いできるような素地をつくっていききたい」と意欲を示した。

横倉会長は地元の福岡県医で地域医療を調査・分析し，政策提言するシンクタンク機能を大学と協力して構築したと説明。「都道府県ごとに特性がある。分析をやってもらえるようお願いしていきたい」とした。（平成 24 年 4 月 6 日）

TPP 参加反対で 18 日に総決起大会 国民医療推進協

日本医師会など医療関連団体でつくる国民医療推進協議会は 4 月 18 日午後 4 時から，東京・本駒込の日医会館で，TPP（環太平洋連携協定）参加反対総決起大会を開く。11 日の定例会見で三上裕司常任理事が発表した。

東京都医師会の協力。協議会や都道府県医師会の会員のほか，国会議員ら約 600 人が参加する予定。決議を採択し，政府・与野党に参加反対を求める。

三上常任理事は「TPP 交渉から公的医療保険制度を除外するよう強く申し入れてきたが，政府から明確な回答がない」と述べ，「国民の生命と健康を預かる医療人として政府の誤った政策を看過するわけにはいかない」と強調した。

（平成 24 年 4 月 13 日）

「医療の質を守る」

野田首相

野田佳彦首相は 4 月 7 日，兵庫県西宮市で開かれた政府主催の社会保障と税の一体改革に関

する対話集会に出席し，国民に消費増税の必要性について理解を求めた。政権交代後，2 回連続で診療報酬のネットプラス改定が実現したことを実績として挙げ，「これからも医療の質を守らなければならない」と述べた。

野田首相は消費税について，全ての世代で負担を支え合うことが可能で，景気動向に大きく左右されないのが特徴と説明。行政改革や政治改革を通じた「無駄の削減」に継続して取り組むことを約束した上で「われわれは名目 3%，実質 2% の成長率を掲げ，実現に向けて全力を尽くす。しかし成長率を上げても，歳出削減をしても財源が足りない。だからこそ歳入改革が必要だ。日本の社会保障と財政が持続可能になるかの正念場だ」と述べ，増税方針に理解を求めた。

「皆保険は死守する」

会場では参加者との質疑応答が行われ，開業医の男性が環太平洋連携協定（TPP）と混合診療の関係を質問した。これに対し，野田首相は「政権交代後，2 回の診療報酬改定をプラスにした。それまでの政権は社会保障の総額を削る方向で進めていて，それが医療崩壊を生み出したと思う」と指摘。「医療崩壊に歯止めをかけるために診療報酬のプラス改定を行い，産科や小児科，救急に配分を厚くして医療の質を高める環境整備をしてきたつもりだ。これからも医療の質を守らなければならない」と述べた。TPP については「国民皆保険は死守する。今のところは皆保険や医療などについて特段の要望はない。細心の注意を払いながら国益を損ねないようにする」と答えた。

野田首相が対話集会に出席したのは今回が初めて。集会に先立ち，同県丹波市の県立柏原病院を視察し，関係者と意見交換した。

（平成 24 年 4 月 13 日）

救急カーターの薬剤取り違えで注意喚起 医療機能評価機構

日本医療機能評価機構は 4 月 16 日，救急カー

トに配置された薬剤を取り出す際に、薬剤を取り違えた事例が3件報告されているとして、医療安全情報で注意を呼び掛けている。

報告された事例は「救急カートの「ボスミン」というシールを見て薬剤を取り出したが、急いでいたためアンプルの薬剤名を確認せず、検査後に救急カートを確認したところ、配置が隣り合っていた「硫酸アトロピン」を使用したことが分かった。医師から「セルシン」を用意するよう口頭で指示を受けた看護師が救急カートの表示を見て「ジゴシン」を「セルシン」と思い込んで準備し、医師も用意された薬剤を確認せず注射したなど。

事例が発生した医療機関では、救急カート内の薬剤名が識別しやすいように医療機関で工夫し、その方法を院内で標準化した。さらに救急カートから薬剤を取り出す際や注射器に準備する際に、薬剤名を確認することにした。

(平成 24年 4月 20日)

次期改定に向けて聴取開始

民主WT

民主党は、中医協が次期診療報酬改定に向け先行して検討する4つの課題について、党の見解を打ち出す作業を開始した。厚生労働部門会議の医療・介護ワーキングチーム(WT、柚木道義座長)が4月20日「医療技術の費用対効果の評価」をテーマに、有識者と製薬団体からヒアリングを実施。同WTは今後、中医協の審議と平行しながら議論を進める。医療機関の控除対象外消費税も議題にする。秋ごろ骨子をまとめたい方針。

中医協が先行して検討する課題は、費用対効果のほか「医療機関の控除対象外消費税」「基本診療料」「長期収載医薬品の薬価と後発品の普及促進」の4点。既存の部会や新たに設置する議論の場を活用して検討する。

控除対象外消費税は5月から

同WTは今後、テーマごとに診療側や支払い側

などの各団体を招いてヒアリングしていく方針。控除対象外消費税は、中医協で最初の議論が行われた後に着手するため、5月からのスタートになりそうだ。

会合後に記者団の取材に応じた柚木座長は、「控除対象外消費税の扱いは中医協だけでなく、党内でも議論していくことを同時改定の議論の際、申し上げてきた」と問題意識を示した。ただ、「一体改革大綱の書きぶりでは10%までは非課税の取り扱いと読めるとも指摘し、今後、それぞれの団体から要望を受ける中で、どのようなまとめ方になるのかも含めて、WTと役員会で議論したい」と慎重な姿勢を示した。

(平成 24年 4月 24日)

不活化ポリオ、9月に接種開始へ

小宮山厚労相

小宮山洋子厚生労働相は4月20日の閣議後会見で、不活化ポリオワクチン(IPV)について単独IPV(サノフィパスツール)を4月中にも承認し、9月には接種可能となるよう準備を進める考えを明らかにした。ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオワクチンの4種混合ワクチン(DPT-IPV)については、11月をめどに接種が開始できるように取り組む。

これまで小宮山厚労相は、IPV導入を今秋の接種時期に間に合わせるよう指示する一方、具体的な時期については明らかにしていなかった。19日の厚生労働省薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会で単独IPVの製造販売承認が了承されたことを受け、接種が開始できる時期を、より具体的に示した。

小宮山厚労相は「十分に足りる量は確保できると思うが、9月に(単独IPVの接種が)始まったからといって、そこに殺到すると品不足になることもある。4種混合も11月ごろをめどに間に合うようにしたいと思っているので、冷静に接種をしていただきたい」と述べた。

(平成 24年 4月 24日)

医師国保組合だより

平成 23 年度 宮崎県医師国民健康保険組合第 106 回通常組合会

と き 平成 24 年 3 月 2 日(金)

ところ 県医師会館

去る 3 月 2 日に第 106 回通常組合会が開催され、平成 24 年度の事業計画(案)、平成 24 年度歳入歳出予算(案)、規約の一部改正、役員等退任報奨金の処分についての 4 議案が承認されましたのでその概略を報告します。

1. 報 告

会務について、関係団体の協議会等への出席、理事会の開催等について、業務については、被保険者数と異動の内容、保険給付状況、保健事業の補助内容について報告しました。

2. 議案第 1 号 平成 24 年度事業計画(案)について

事業計画につきましては、基本的には 23 年度を踏襲しておりますが、その中で、新規事業として、脳ドック検査補助事業を追加しました。

詳細につきましては、組合員の先生方へ健康診断の案内等と合わせご案内します。

また、広報活動にホームページの作成を追加しました。各種届書(例えば、資格取得、喪失等)の提出の際にもホームページから各様式をダウンロードし提出していただく等、事務処理の迅速化を目指すことを事業計画の中にあげました。

次に、法令遵守(コンプライアンス)の体制整備につきましては、国の指導もあり、役員に対する法令遵守の周知徹底に、研修を追加しました。

3. 議案第 2 号 平成 24 年度歳入歳出予算(案)について

歳入については、保険料が 2 億 9,200 万円で、歳入合計の約 50% を占め、国庫支出金 8,150 万円の 14%、繰越金 2 億円の 34%、歳出については、保険給付費が 2 億 4,880 万円で 42%、後期高齢者支援金が 15%、介護納付金が 7% を占める予算配分となっており、歳入・歳出合計 5 億 8,292 万 8,000 円の予算となり、前年度予算と比較して 0.7% 減の予算となりました(別表参照)。

4. 議案第 3 号 規約の一部改正について

規約の改正につきましては、現在 15 名となっている理事の定数を、経費削減のため 15 名から幅を持たせ 6 名～10 名に改正しました。

また、特別積立金、支払準備金につきましては、国民健康保険法施行令にならい改正しております。

5. 議案第 4 号 役員等退任報奨金積立金の処分について

現役員の任期が、3 月末をもって任期満了となりますので、積立金の一部を処分し、一般会計へ繰り入れその財源に充てるということです。

何れも、原案どおり承認を得ております。

なお、「規約の一部改正」、「役員等退任報奨金積立金の処分」については県への認可申請を行い、宮崎県知事の認可も得ましたので、報告します。

平成 24年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

(歳 入)

(単位 円)

款	項	金額	構成比	
1 .国民健康保険料	1 .国民健康保険料	292,104,000	50.1%	
2 .一部負担金	1 .一部負担金	1,000	0.0%	
3 .分担金及び負担金	1 .負担金	480,000	0.0%	
4 .国庫支出金		81,507,000	13.9%	(100.0%)
	1 .国庫負担金	1,601,000		(1.9%)
	2 .国庫補助金	79,906,000		(98.0%)
5 .前期高齢者交付金	1 .前期高齢者交付金	2,000	0.0%	
6 .県支出金	1 .県補助金	2,000	0.0%	
7 .共同事業交付金	1 .共同事業交付金	5,000,000	0.8%	
8 .財産収入	1 .財産運用収入	2,000,000	0.3%	
9 .繰入金	1 .繰入金	1,504,000	0.2%	
10 .繰越金	1 .繰越金	200,000,000	34.3%	
11 .諸収入		328,000	0.0%	(100.0%)
	1 .加算金・延滞金及び過怠金	1,000		(0.3%)
	2 .預金利子	230,000		(70.1%)
	3 .雑収入	97,000		(29.5%)
歳 入	合 計	582,928,000	100.0%	

(歳 出)

(単位 : 円)

款	項	金額	構成比	
1 .組合会費	1 .組合会費	10,180,000	1.7%	
2 .総務費	1 .総務管理費	55,639,000	9.5%	
3 .保険給付費		248,802,000	42.6%	(100.0%)
	1 .療養諸費	222,650,000		(89.4%)
	2 .高額療養費	21,001,000		(8.4%)
	3 .移送費	1,000		(0.0%)
	4 .出産育児諸費	850,000		(0.3%)
	5 .葬祭諸費	1,500,000		(0.6%)
	6 .傷病諸費	2,800,000		(1.1%)
4 .後期高齢者支援金等	1 .後期高齢者支援金等	92,009,000	15.7%	
5 .前期高齢者納付金	1 .前期高齢者納付金	26,008,000	4.4%	
6 .老人保健拠出金	1 .老人保健拠出金	6,000	0.0%	
7 .介護納付金	1 .介護納付金	45,000,000	7.7%	
8 .共同事業拠出金	1 .共同事業拠出金	14,490,000	2.4%	
9 .保健事業費		25,110,000	4.3%	(100.0%)
	1 .特定健康診査等事業費	2,330,000		(9.2%)
	2 .保健事業費	22,780,000		(90.7%)
10 .積立金	1 .積立金	5,000	0.0%	
11 .公債費	1 .一般公債費	1,000	0.0%	
12 .諸支出金	1 .償還金及び還付加算金	2,000	0.0%	
13 .予備費	1 .予備費	65,676,000	11.2%	
歳 出	合 計	582,928,000	100.0%	

平成 24年 3月 2日

宮崎県医師国民健康保険組合
理事長 秦 喜八郎

出席組合議員及び出席役員は下記のとおりです。

出席議員

1. 市 来 能 成
2. 猪 島 康 公
3. 内 田 攻
4. 小 池 弘 幸
6. 田 崎 高 伸
9. 原 田 雄 一
10. 福 永 隆 幸
11. 藤 木 浩
12. 武 田 信 豊
13. 出 水 善 文
15. 野 邊 俊 文

16. 山 田 孝 俊
17. 富 田 精 一 郎
21. 浦 上 裕
22. 大 久 保 史 明
23. 坂 田 師 隣
24. 福 岡 周 司
25. 岡 本 将 幸
26. 川 井 田 繁
27. 立 山 洋 司
28. 花 田 武 浩
30. 岩 見 晶 臣

出席理事

理 事 長 秦 喜 八 郎
副 理 事 長 大 坪 睦 郎
" 河 野 雅 行
常 務 理 事 高 橋 政 見
理 事 大 塚 直 純
" 濱 田 政 雄
" 石 川 智 信
" 矢 野 裕 士

出席監事

監 事 川 島 謙 一 郎
" 瀬 ノ 口 頼 久

お知らせ

平成 24年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも養成校では力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

(平成 24年 5月 1日現在)

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 24名 (女 24名)	就職希望者 35名 (男 4名、女 31名)	就職希望者 8名 (女 8名)
連絡先： 0985-85-0146 宮崎市清武町加納 1415 担当：佐土原 敦 谷口 和子	連絡先： 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当：福元 進	連絡先： 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当：原口桂一郎 中山さおり 吉原真由美

医師国保組合だより

平成 24年度保険料賦課について(通知)

宮崎県医師協同組合だより

薬事情報センターだより (300)

新薬の薬価算定の基準

新薬の薬価は、類似薬がある場合には、原則として、当該新薬の最類似薬を比較薬として、類似薬効比較方式()によって算定される額に、補正加算を行った額となります。この場合の最類似薬は、原則として、承認日の前日から起算して過去 10年間に薬価収載されたものであって、後発品が薬価収載されていないものです。しかし、補正加算の対象外であり、当該新薬の薬理作用類似薬の組成の種類が 3 以上あり、かつ、そのうち最も早く薬価収載されたものの収載日から起算して 3 年を経過した日以後の場合には、新規性に乏しい新薬として、類似薬効比較方式()により算定されることとなります。また、外国平均価格調整や規格間調整が行われる場合もあります。

補正加算には、画期性加算、有用性加算()、有用性加算()、市場性加算()、市場性加算()及び小児加算の 6 種類があります。

画期性加算は、3 つの要件(臨床上有用な新規の作用機序を有すること。類似薬に比して、高い有効性または安全性を有することが、客観的に示されていること。当該新規収載品により、対象となる疾病または負傷の治療方法の改善が客観的に示されていること)全てを満たしている場合に、70~ 120%の範囲で算定されます。画期性加算が認められた薬剤は、2002年 12月に薬価収載されたミカファンギンナトリウム(ファンガード点滴用)以降ありません。

有用性加算()は、画期性加算の 3 要件のうち 2 つの要件を満たしている場合に、35~ 60%の範囲で算定されます。有用性加算()は、4 要件(画期性加算の 3 要件及び 製剤における工夫により、類似薬に比して、高い医療上の有用性を有することが、客観的に示されていること)のうちのいずれかの要件を満たしている場合に、5 ~ 30%の範囲で算定されます。有用性加算()は 2011年 1月に薬価収載されたテラプレビル(テラビック錠)とフィンゴリモド塩酸塩(イムセラカプセル/ジレニアカプセル)で認められました。

市場性加算()は、2 つの要件(希少疾病用

医薬品として指定された新規収載品であって、対象となる疾病または負傷に係る効能及び効果が主たる効能及び効果であること。比較薬が市場性加算()の適用を受けていないこと)全てを満たしている場合に、10~ 20%の範囲で算定されます。市場性加算()は、2 つの要件(主たる効能及び効果が、市場規模が小さいものとして定められている薬効に該当すること。比較薬が市場性加算()または市場性加算()の適用を受けていないこと)全てを満たしている場合に、5 %算定されます。但し、市場性加算()または小児加算の対象となるものは除かれます。

小児加算は、2 つの要件(主たる効能及び効果または当該効能または効果に係る用法及び用量に小児に係るものが明示的に含まれていること。比較薬が小児加算の適用を受けていないこと)全てを満たしている場合に、5 ~ 20%の範囲で算定されます。但し、市場性加算()の対象となるもの及び国内で小児効能に係る臨床試験が実施されておらず、かつ、小児用製剤など、小児に対して臨床使用上適切な製剤が供給されないものは除かれます。

類似薬がない場合には、原則として、原価計算方式によって算定される額となります。原価計算方式は、薬価算定単位あたりの製造販売に要する原価に、販売費及び一般管理費、営業利益、流通経費並びに消費税及び地方消費税相当額を加えた額を薬価とする算定方式です。既存治療と比較した場合の革新性や有効性、安全性の程度に応じて、営業利益率が評価されます。また、外国平均価格調整が行われる場合もあります。

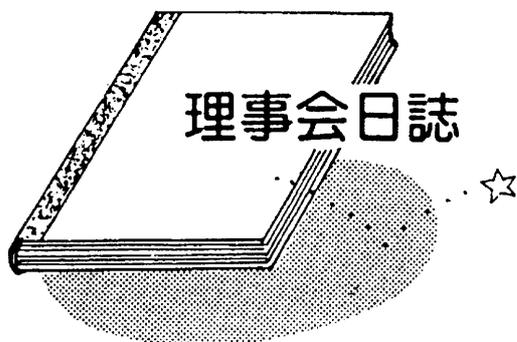
参考資料

薬価算定の基準について(平成 24年 2月 10日
保発 0210第 4号)

薬剤経済学に関する話題・ファルマシア 47
(8),735-740.2011

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)



平成 24 年 3 月 6 日(火) 第 2 回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 3/15(木) 南那珂 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(再開)の実施について

中断していた個別指導の再開について、前回に引き続き上田理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

児童扶養手当の支給に関する障害判定嘱託医の推薦について

任期満了に伴う推薦依頼で、精神障害、肢体不自由障害、内部障害の 3 名の嘱託医について、再任の方向で現職の先生方の意向を確認し、推薦を行うことが承認された。

評議員の推薦について

任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き石川常任理事を評議員に推薦することが承認された。

新公益法人理事候補者の推薦について

県健康づくり協会は平成 23 年 4 月に新公益法人へ移行するよう準備を進めており、移行後の理事候補者について推薦依頼があった。しかし、その構成のあり方や責任の所在等不明確な点も多く、この

機会に、県医師会長が県健康づくり協会の理事長に就任することについて見直すべきとの意見が出されたこともあり、今後、県健康づくり協会の理事会等の議論を見て、改めて協議を行うこととなった。

3. 後援・共催名義等使用許可について

11/17(土)～18日(宮観ホテル)平成 24 年度日臨技九州支部医学検査学会(第 4 回)後援名義使用について

『天孫降臨～神話の国「宮崎」に集い極めよ～』をテーマに開催される臨床検査技師の九州ブロックの学会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 地域産業保健事業について

宮崎労働局が委託する県内の労働者数 50 人未満の小規模事業所の事業者及び労働者を対象に行う地域産業保健の事業について、事業を受託するため、企画競争入札に参加することが承認された。

5. 宮崎日日新聞の医療安全等に関する取材について

報道部の記者からの取材依頼で、医療安全や医事紛争に対する本会の取組み等を中心に当初文書での回答を検討していたが、短い取材で記事にすることの危険性、また、医療の不確実性や医療従事者の努力や苦悩といった現状を正しく伝える意味からも、濱田常任理事が直接面会し対応することとなった。

6. 5/1(金)～12日(宮観ホテル)日本救急医学会九州地方会への補助について

「救急医療と医学教育～救急だからできる人材教育にチャレンジ!」をテーマに開催される学会で、東日本大震災での JMAT 宮崎チームの活躍等もあり、その一環としての支援を検討したが、九州ブロックの学会への支援は行っておらず、他の学会との関係

もあることから、本学会への補助は見送り、別の形で県内の救急医療・災害医療に対して支援を行っていくことが承認された。

7. 生活情報紙「きゅんと」の「Health」コーナー連載依頼について

宮崎日日新聞が女性をターゲットに毎月2回発行している生活情報誌で、例年通り「Health」連載について協力を行うことが承認された。

8. 平成 24年度九医連・九医学に関して

宮崎県泌尿器科医会の申し出について

常任理事会の冒頭、県泌尿器科医会の中山健会長が来会し、その他の報告・協議に先立ち申し出に対する検討が行われた。中山会長から、将来、泌尿器科を九州医師会医学会の分科会に参加させていただきたく、まずは実績づくりとして、今年11月宮崎で開催される九州医師会医学会と同日・同会場で県泌尿器科医会の研修会を開催することの承認をお願いしたいとの趣旨説明があった。検討の結果開催を了承、資金的な援助等はできないが、今後九州各県の泌尿器科医会で要望の取りまとめができれば、九医連常任委員会等に諮りその実現に向け協力していくことが承認された。

(報告事項)

1. 2月末日現在の会員数について
2. 3/6(火) 産業保健推進センター 運営協議会について
3. 2/29(水) 宮崎労働局 労災診療指導委員会について
4. 3/5(月) 日医 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会について
5. 3/4(日) 宮崎市民プラザ 県ジェネリック医薬品シンポジウムについて

6. 3/1(木) JA A2M 本館 社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

7. 3/3(土) 県医 地域リハビリテーション研修会について

8. 3/1(木) 日医 都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会について

9. 3/6(火) 県医 治験審査委員会について
医師連盟関係

(協議事項)

1. 3/12(月) JA A2M 本館 選挙対策委員会の開催について

第23回衆議院通常選挙の候補者選考を中心に開催される委員会で、出席者の検討が行われたが、委員会の規程等に不明な点があるため再確認を行うこととなった。

2. 3/18(日) 東京 横倉義武日本医師会会長候補「総決起大会」の開催について

先に開催された九医連常任委員会でも全県一致で全面的に支持することが決定しており、本県としても日医代議員を中心に参加することが承認された。

平成 24年 3月 13日(火) 第 28回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について

はり・きゅう及びあん摩マッサージ等の療養費が急激に増加していることから、同意書様式や往療の可否の判断基準を検討するために新たに設置される研究会で、人選を県整形外科医会に依頼することが承認された。

2. 日本医師会役員選挙の対応について

3月10日の九医連常任委員・九州各県次

期会長合同会議で協議された日本医師会役員候補者への支援について、物心両面から支援を行うことが承認された。金額等については、九州各県の対応や情勢を踏まえ検討していく必要があるため稲倉会長に一任することとなった。

3. 平成 24 年度九医連・九医学に関して

4 / 7 (土) シェラトン 九州医師会連合会第 324 回常任委員会の開催について

九州各県医師会長とその奥様が来県し開催される最初の九医連常任委員会で、案内文書等の確認が行われ、観光情報や施設案内等を同封し案内を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 3 / 7 (水) 支払基金 支払基金幹事会について

3. 3 / 10 (土) 佐賀 九医連常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議について

4. 3 / 12 (月) 県医 各都市医師会社会保険担当理事連絡協議会について

5. 3 / 10 (土) 佐賀 九医連常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会について

6. 3 / 10 (土) 佐賀 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議について

7. 3 / 9 (金) 都城)・3 / 12 (月) 県医 自殺対策うつ病研修会について

8. 3 / 10 (土) 日医 JMAT に関する災害医療研修会について

9. 3 / 11 (日) 日医 日医医療政策シンポジウムについて

10. 3 / 7 (水) 日医 都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会について

11. 3 / 10 (土) 県医 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・研修会について

12. 3 / 10 (土) 南九州大学) ころの健康フォーラム in 宮崎について

13. 3 / 12 (月) 県庁) 県准看護師試験委員会について

14. 3 / 9 (金) 県医) 県民健康セミナーについて

15. 3 / 13 (火) 県医) 治験理事会について

16. その他

公益法人化準備委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 3 / 25 (日) JA-AZM) 総務・支部長合同会議の開催について

平成 24 年度の予算に加え、来年 7 月の第 23 回参議院通常選挙の候補者選考についても協議される予定になっていることから、稲倉委員長が出席することが承認された。

2. 4 / 1 (日) キャトルセゾン・マツイ) どうきゅう誠一郎と語る会(国政報告会)のご案内について

当日は、東京で日本医師会定例代議員会等が開催され、役員も上京することから欠席とさせていただくことが承認された。

3. 4 / 8 (日) 宮観ホテル) 民主党宮崎県総支部連合会 2012 年度県連大会のご案内について

当日は、九州各県医師会長とその奥様が来県し観光等を行う予定になっていることから、事務局対応とすることが承認された。

平成 24 年 3 月 27 日(火) 第 1 回全理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

新生児聴覚検査・療育ネットワーク構築事業協議会委員の推薦について

新生児の聴覚障害の早期発見・治療等の支援体制推進を図るため設置されてい

- る協議会で、任期満了に伴う委員 3 名(耳鼻咽喉科・産婦人科・小児科)の推薦依頼があり、再任の方向で現委員の意向を確認し、推薦を行うことが承認された。宮崎県肝炎治療認定審査会委員の推薦及び就任について
- 肝炎治療特別促進事業の適正かつ円滑な実施を目的として設置されている審査会で、任期満了に伴う委員 2 名の推薦があり、引き続き現委員の弘野修一先生、北村亨先生を推薦することが承認された。「宮崎県健康づくり推進協議会」委員の推薦について
- 県民の健康づくりを計画的、効果的に推進するための基本方針や施策を協議することを目的に設置されている協議会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き富田副会長を推薦することが承認された。
- 宮崎県不妊に悩む方への特定治療支援事業協議会委員の推薦について
- 任期満了に伴う 2 名の委員(県医師会・県産婦人科医会)の推薦依頼で、県医師会に関しては、引き続き濱田常任理事を推薦し、産婦人科医については、県産婦人科医会に推薦を依頼することが承認された。
2. 後援・共催名義等使用許可について
- 5 / 13日(県総合保健センター)平成 24年度市民公開講座ご後援のお願い
- 「自傷行為の理解と援助～故意に自分の健康を害する若者たち～」を演題に開催される無料の市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。
3. 6 / 1日(福岡)平成 24年度(第 34回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について
- 稲倉会長の出席が承認された。また、提出議題は、行政を含めた九州全域の広域災害への対応と協力体制構築等について、古賀常任理事が取りまとめを行い提出することとなった。
4. 4 / 2日(佐賀)九州医師会連合会事務引継の開催について
- 佐賀県医師会メディカルセンターで開催する旨の通知があり、稲倉会長、河野・富田副会長が出席することが承認された。
5. 7 / 7(出)・8(日)(宮観ホテル)第 44回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会の開催経費助成について
- 九州地区内(含む下関)の医師会が開設する病院、臨床検査センター、検診センター、訪問看護ステーション等の関係者が集まり開催される協議会で、今年は宮崎県で開催されることから支援を行うことが承認された。
6. 平成 24年度県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断業務の委託契約について
- 平成 24年度の診療報酬改定の変更を委託料に反映した上で、引き続き契約を締結することが承認された。
7. 7 / 2日(土)・2日(日)第 25回全国有床診療所連絡協議会総会宮崎大会における協賛金について
- メインテーマを「新しい有床診のあり方」、サブテーマを「無床化した診療所からの提言」として開催される全国大会で、大会運営に協力することが承認された。
8. 宮崎県医師会会費減免(高齢)について
- 本会会員として 20年以上在籍、かつ満年齢 80歳に達しているとして、高齢による会費減免(県医)1 件が承認された。
9. 4・5月の行事予定について
- 4月の追加事項並びに5月の行事の確認が行われた。

(報告事項)

- 1 . 週間報告について
- 2 . 公益法人の認定について
- 3 . 3 / 16(金) 宮大医学部) 研修管理委員会について
- 4 . 3 / 2(火) 県医) 県アイバンク協会理事会について
- 5 . 3 / 2(火) 県企業局) 県社会福祉審議会について
- 6 . 3 / 2(火) 九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
- 7 . 3 / 2(火) 県総合保健センター) 県健康づくり協会評議員会について
- 8 . 3 / 19(月) 県医) 都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会復講について
- 9 . 3 / 23(金) 県総合保健センター) 県健康づくり協会理事会について
- 10 . 3 / 16(金) 県医) 公衆衛生・感染症委員会について
- 11 . 3 / 24(土) 県医) 県医臨床検査精度管理調査勉強会について
- 12 . 3 / 2(火) 宮観ホテル) 病院部会医療法人部会合同医療従事者研修会について
- 13 . 3 / 2(火) 宮観ホテル) 県産業保健連絡協議会等について
- 14 . 3 / 14(水) 県庁) 県母子保健運営協議会について
- 15 . 3 / 16(金) 県庁) 県国民保護法共同実動訓練説明会について
- 16 . 3 / 17(土) 県医) CCLS 研修会について
- 17 . 3 / 18(日) 県医) ACLS 研修会について
- 18 . 3 / 19(月) 県医) 県臨床研修運営協議会小委員会について
- 19 . 3 / 2(火) 県庁) 県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する協議会について
- 20 . 3 / 2(火) 県庁) 県メディカルコントロール協議会について
- 21 . 3 / 26(月) 県庁) 県地域医療支援機構代表者会議について

- 22 . 3 / 26(月) 県庁) 東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議について
- 23 . 3 / 2(火) 県企業局) 介護技術等向上連絡会議について
- 24 . 3 / 14(水) 県医) 自賠委員会について
- 25 . 3 / 14(水) 県医) 損害保険医療協議会について
- 26 . 3 / 15(木) 宮大医学部) 宮大医学部医の倫理委員会について
- 27 . 3 / 20(火) 県医) 県民健康セミナーについて
- 28 . 3 / 15(木) 岡山) 女性医師復職支援事業視察について
- 29 . 3 / 16(金) 県医) 広報委員会について
- 30 . 3 / 26(月) 県医) 広報委員会について
- 31 . 3 / 8 (木) 県医) 医学会誌編集委員会について
- 32 . 3 / 15(木) 南那珂) 社会保険医療担当者(医科) の個別指導について
- 33 . その他

人事等管理委員会の報告について

医師協同組合・エムエムエスシー関係

(議決事項)

- 1 . 組合賛助会員加入承認について
1 名の組合賛助会員加入が承認された。

(報告事項)

- 1 . 医協運営委員会について

医師連盟関係

(報告事項)

- 1 . 3 / 17(土) 宮観ホテル) 自民党県連政経懇談会について
- 2 . 3 / 18(日) 東京) 横倉義武先生日医会長候補総決起大会について

お詫びと訂正

日州医事平成 24 年 4 月号「各郡市医師会役員名簿」の記事内に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

西都市・西児湯医師会の理事名

(誤) 鶴田 曜三

(正) 鶴田 明土

県 医 の 動 き

(4 月)

1	九州ブロック日医代議員連絡会議(日医㊿会長他) 日医定例代議員会(日医㊿会長他)	18	全体課長会(事務局) TPP参加反対総決起大会(日医㊿会長他)
2	九州ブロック日医代議員連絡会議(日医㊿会長他) 日医定例代議員会・総会(日医㊿会長他)	19	看護師の「雇用の質」の向上のための取組に関する企画委員会 県医産業医部会理事会(会長他) 県産婦人科医会・県産科婦人科学会全理事会 (濱田常任理事)
3	第1回常任理事協議会(会長他)	20	保険医療機関の指導計画等打合せ(会長他)
5	県警察医会協議会 県産婦人科医会医師確保・勤務医対策委員会 (濱田常任理事)	21	県産婦人科医会春期定時総会(濱田常任理事) 九医連事務引継ぎ(佐賀㊿会長他)
7	九医連常任委員会(会長)	23	県臨床研修運営協議会(会長他) 広報委員会(荒木常任理事他)
8	全国医師協同組合連合会広報部会(東京) (立元常任理事) 民主党県連大会(事務局)	24	県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会 (河野副会長) 医協理事会(会長他) 第1回理事会(会長他)
9	宮大医学部附属病院救命救急センター開所式 (会長他) 県産婦人科医会会計監査(濱田常任理事)	25	全国医師国保組合代表者会(東京㊿秦理事長) 労災診療指導委員会 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸理事)
10	県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会 (河野副会長) 治験審査委員会(富田副会長他) 第2回常任理事協議会(会長他)	26	県外科医会会計監査・理事会 病院部会・医療法人部会合同理事会 (池井常任理事)
11	支払基金幹事会(会長)	27	県国民保護共同実動訓練調整会議(古賀常任理事) 医家芸術展世話人会(河野副会長他)
12	税務署調査(事務局)		
15	県小児科医会役員会(佐藤常任理事)		
16	広報委員会(会長他)		
17	日医理事会(日医㊿会長) 県ドクター・ヘリ運行開始式(河野副会長) 第3回常任理事協議会(河野副会長他)		

お知らせ

宮崎県医師会勤務医住宅ローンの
融資利率改定について

下記のとおり改定されましたのでお知らせいたします。

1 . 改定内容(融資利率)

区 分	改 定 後	現 行	改 定 幅
変動金利型 (長プラ連動型)	年 1.40%	年 1.35%	+ 0.05%

2 . 実施日(平成 24年 4月 2日以降の新規貸出実行分より適用)

宮崎県医師会勤務医住宅ローンの商品概要

融資限度額	50万円 ~ 5,000万円
資金用途	住宅の新築・増改築・補修資金, 住宅用地の購入資金
金 利	【固定金利選択型】(2年) 1.1% , (5年) 1.3% , (10年) 1.75% , (15年) 2.8%
	【変動金利型】(長プラ連動型) 1.40%
	【変動金利型】(短プラ連動型) 1.25%
融資期間	30年以内
担 保	要担保
保 証 人	法定相続人, 担保提供者, 年収合算者
備 考	借入時 65歳以下, 完済時 70歳以下, 団信生命保険付
提携銀行	宮崎銀行

問合せ先 宮崎県医師会 経理課 ☎ 0985-22-5118

追 悼 の こ と ば

西諸医師会

迫 田 欽 一 先生

(昭和 4年 12月 25日生 84歳)

弔 辞

本日、ここに故 迫田欽一先生の告別式が執り行われるにあたり、西諸医師会を代表致しまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れのことを申し上げます。

先生は、まだまだお元気でお過ごしのことと思っておりましたところ、平成 24年 3月 31日、ご逝去されたとの突然の悲報に驚倒し、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

会者定離、生者必滅は世の常とは申しながら、享年 84歳にして、先生は遠遠なる安息の地へと旅立ってしまわれたのであります。

私共医師会の長老として、会員が等しく尊敬申し上げます先生をここに失ったことは、誠に痛恨の極みであり、ご親族の皆様のご心中如何ばかりかとお察し申し上げ、心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、昭和 4年 12月 25日、この世に生を享けられ、幼少にして、その才誉れ高く、長ずるに及び医学の道に志を立てられ、鹿児島大学医学部に進まれ、昭和 34年 3月、ご卒業になられたのであります。

その後、鹿児島大学第二内科に入局され、幾多の研鑽を積み、昭和 44年 6月からはえびの市立病院の内科部長に就任され、その後、同病院の院長を歴任されております。昭和 43年 12月には、当地加久藤に迫田内科を開業されたのであります。

平成 22年、現役を退かれるまでの、50有余年、長き歳月を内科医として、昼夜、地域医療のために身を捧げてこられたのであります。

この間、昭和 46年から平成 20年までの 38年間は学校医として、児童生徒の健康管理、保健指導にも積極的に意を注がれ、また、先生の温厚誠実なお人柄は、地域住民にも敬愛され、厚く信望を集めておられました。

また、当医師会におかれましては、昭和 45年 4月から平成 6年 3月までの間に 5期 10年間理事を務められ、医師会活動に積極的に貢献されると共に、地域医療を担う看護師の養成にも多大なるご尽力をいただいたのであります。

私共、後に続くものとして、改めて深甚の敬意を表しますと共に、感謝の気持ちで一杯であります。

また一方で、先生はスポーツをこよなく愛され、多忙な診療の合間にはゴルフを楽しんでおられたと聞いております。また最近では奥様とご一緒にカメラを片手にお出かけになり、写真をよく撮られていたとも聞いております。

今、私共医師を取り巻く環境は、大きく変革しようとしており、将来への展望が見出せない状況にあります。

先生、これからは、天国で私共医師会を、どうぞお守りください。

また、先生が慈しみ優しさをもって導き育てられましたご子息も、先生のご意志を引き継がれ、地域医療の担い手としてご活躍中で、後顧の憂いもなきものと思います。

迫田欽一先生、惜別の情尽くしえませんが、先生の長年のご功績、ご功勞に敬意と感謝を表しつつ、心からご冥福を申し上げ、私共会員一同、微力ながら地域医療の発展に努めることをお誓いし、お別れのことはと致します。

先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 24年 4月 3日

西諸医師会

会長 高 崎 直 哉

お知らせ

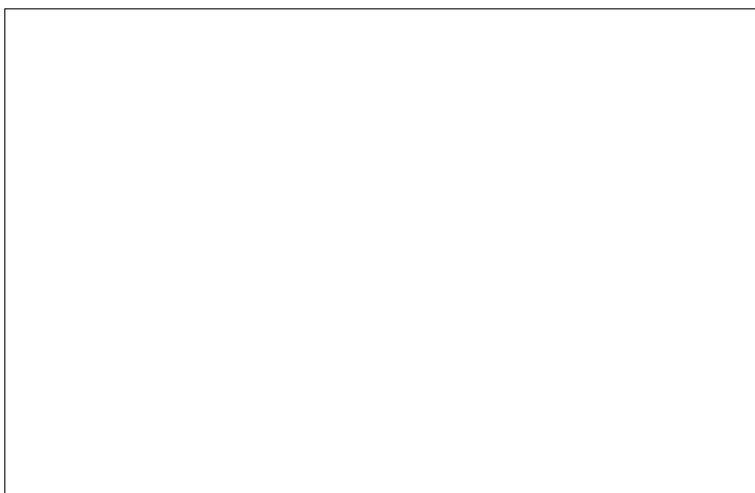
第 13回 宮崎県医師会

a ~ | p W i W!

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成 12年から始まった宮崎県医師会医家芸術展は、本年で第 13回を開催する運びとなりました。

おかげさまで、昨年は 4名の方々から 107点のご応募をいただきました。各作品部門におきまして充実した作品が揃い、素晴らしい展覧会となりました。また、入場者は 5日間で 1,079人を数え、年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

今年も県立美術館の県民ギャラリー 及び を確保して、下記の要領にて作品を募集いたします。会員及びご家族のご出展を心よりお待ちしております。



(前回会場風景)

展示期間：平成 24年 8月 15日(水)～ 19日(日) 5日間)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー

応募作品：絵画，写真，書道

応募資格：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

応募方法：出品希望の方は応募用紙を送付しますので、下記までご連絡ください。

出品者名，出品部門，作品の点数・大きさ等必要事項をご記入いただきます。

作品の搬入出につきましては、各自の責任のもとでお願いいたします。

応募締切：6月9日(土)

応 募 先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118・FAX 0985-27-6550

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 24年 4月 16日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 2人

1) 男性医師求職登録数 2人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	2	1	1

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 40人

1) 男性医師 29人 2) 女性医師 11人

3. 求人登録 91件 322人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	96	70	26
外科	32	26	6
整形外科	23	19	4
精神科	21	16	5
循環器科	16	16	
脳神経外科	13	10	3
消化器内科	12	12	
麻酔科	10	7	3
眼科	10	8	2
放射線科	9	8	1
小児科	6	5	1
呼吸器内科	5	5	
リハビリテーション科	4	2	2
血液内科	3	3	
神経内科	6	6	
救命救急科	3	3	
健診	4	2	2
産婦人科	2	2	
泌尿器科	1	1	
検診	2		2
皮膚科	3	3	
人工透析	2	2	
耳鼻咽喉科	2	2	
その他	37	34	3
合計	322	262	60

求 人 登 録 者 (公 開)

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医) っか会ピア・メンタル ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医) 三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳整放麻内	8	常勤・非常勤
160017	医) プレストピア プレストピアなんば病院	宮崎市	乳腺内	3	常勤
160020	財) 弘潤会 野崎病院	宮崎市	精内	2	常勤
160031	医) 同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼神内眼耳鼻総診呼外, 循臨病	9	常勤
160033	医) 如月会 若草病院	宮崎市	内精	3	非常勤
170040	医) いなほ会 日高医院	宮崎市	内	1	非常勤
170046	医) 社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	内消内内泌糖内呼放, リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医) 慶明会 けいめい記念病院	国富町	内眼	2	常勤
170052	医) 春光会	宮崎市	外内	3	常勤
180061	医) あいクリニック	宮崎市	精	1	非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内神内整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内	3	常勤
190094	医) 耕和会 迫田病院	宮崎市	整内外	7	常勤・非常勤
190095	医) 慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医) 晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化外総内麻放精整, 循	13	常勤・非常勤
200104	医) 社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内外救急化療リハ	6	常勤
200105	医) 誠友会 南部病院	宮崎市	内外放	3	常勤
210110	医) 幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内リハ	5	常勤・非常勤
220121	医) 社団 星井眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
220123	医) 仁和会 介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
220125	医) 仁和会 竹内病院	宮崎市	外内	3	常勤
220126	八代医院	宮崎市	内	1	非常勤
230128	医) 真愛会 高宮病院	宮崎市	内	1	常勤
230132	医) 康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医) 慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230136	社会保険 宮崎江南病院	宮崎市	健診	1	非常勤
230140	医) 将優会 クリニックうしたに	宮崎市	外内整家庭医総合臨床	1	常勤
160008	医) 正立会 黒松病院	都城市	内泌	2	常勤
160010	特医) 敬和会 戸嶋病院	都城市	内老内	2	常勤
160018	医) 宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内救急放射脳外総合	8	常勤
170042	医) 豊栄会 豊栄クリニック	都城市	内老内精	3	常勤
170056	医) 社団アブラムクラブ ベテスタクリニック	都城市	循内脳外呼神内	5	常勤
170057	医) 清陵会 隅病院	都城市	内外整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内血内循内脳産婦, 耳鼻	9	常勤
180069	社) 八日会 大悟病院	三股町	精内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内呼	4	常勤
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210108	特医)澈和会 みまた病院	三 股 町	内消内循皮整婦小, 呼放	10	常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外内麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 信愛医院	都 城 市	内	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外整外皮放内肝外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外消内緩ケア	4	常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内外麻精神内脳神経 老施心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内小外整	8	常勤・非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外内整透	7	常勤
230130	医)フボール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内麻	4	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内放外小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整内心内眼健診循脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼循消内外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼麻脳	10	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内外整	6	常勤・非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内消内神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精内	2	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内神内整外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内循呼血内健診放小	11	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外内整	4	常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内神内循内	3	常勤・非常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内整	2	非常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 24年 4月 16日現在

1. 譲渡物件	宮崎市阿波ヶ原町前田 2633番, 2634番 土地のみ：593.57坪(2022.17㎡)
2. 賃貸物件	宮崎市曾師町 209-3(旧 田川内科医院跡地) 建物：鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35㎡， 2 階 166.69㎡ 駐車場：10台分
	延岡市大門町 188-1(旧 白坂内科医院跡地) 建物：鉄筋造平屋建 205㎡ 駐車場：10台分

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前9時から12時及び13時から17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101番地(宮崎県医師協同組合)

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m iyazakim ed.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24年 4月 27日現在

5		月						
1	火	19 00	第 4 回常任理事協議会	18	金			
2	水			19	土	16 00	九医連常任委員会	↑ 国 ↓
3	木		(憲法記念日)			17 00	九医連定例委員総会	
4	金		(みどりの日)			18 20	九州医連連絡会執行委員会	
5	土		(こどもの日)	20	日			↓
6	日			21	月			社 保 審
7	月			22	火	13 30	地方公務員災害補償基金宮崎 県支部審査会	↓ 審 査 ↓
8	火	18 00	治験審査委員会			18 30	第 1 回全理事協議会	
		19 00	第 5 回常任理事協議会	19 00	宮崎大学医学部教授等と県医 師会役員等との懇談会			
9	水	10 30	奥様医業経営塾 (医協事務局)	23	水	10 30	奥様医業経営塾 (医協事務局)	↓
		12 00	宮崎政経懇話会			15 00	労災診療指導委員会	
		16 00	支払基金幹事会	24	木	15 00	県認知症高齢者グループホーム連絡 協議会理事会	
		19 00	県内科医会会計監査			15 00	県医療審議会	
		19 00	宮崎市郡医師会例会・しのめ医 学会			19 00	広報委員会	
10	木	17 30	県健康づくり協会最初の評議員選考 委員会	25	金	15 15	県学校保健会理事・評議員会	
		19 30	県産婦人科医会常任理事会			17 00	県健康づくり協会評議員会	
11	金	18 30	労災部会会計監査			18 00	九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会	
						18 30	南那珂医師会定時総会	
12	土	14 30	県医産業医部会総会・研修会	26	土	15 00	県整形外科医会評議員会	
		16 00	県医在宅医療協議会設立総会			15 00	県外科医会理事・評議員会	
13	日	11 50	九州ブロック初期・後期臨床研修進 路説明会			15 30	県整形外科医会総会	
		19 00	県内科医会学術委員会			15 30	県外科医会総会	
		19 30	広報委員会			16 00	労災部会総会	
14	月			16 45	県外科医会・県整形外科医会・労災 部会合同学会			
15	火	14 00	(日医) 日医理事会	27	日			
		15 30	(日医) 日医連執行委員会	28	月	18 00	県健康づくり協会理事会	
		17 00	日医役員就任披露パーティ			18 30	県難病医療連絡協議会	
		19 00	第 6 回常任理事協議会	19 00	県内科医会理事会			
16	水	9 10	全体課長会 (事務局)	29	火	13 30	県腎臓バンク理事会	
		10 30	奥様医業経営塾 (医協事務局)			18 15	医協理事会	
17	木	18 30	県医・医協合同会計監査	30	水	19 00	第 2 回理事会	
						10 30	奥様医業経営塾 (医協事務局)	
				31	木			

都合により、変更になることがあります。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24年 4月 27日現在

6		月			
1	金	16 00 九医連常任委員会 17 00 九州各県医療保健福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議	15 金	17 30 宮大医学部附属病院マッチング説明会 & 県内基幹型臨床研修病院説明会	
2	土	全国有床診療所連絡協議会九州ブロック役員会 14 30 全国医師協同組合連合会購買担当職員研修会	16 土	16 00 北九州医師事業協同組合創立 50 周年祝賀会	↑
			17 日		
3	日	8 30 全国医師協同組合連合会購買担当職員研修会	18 月		
4	月		19 火	14 00 (日医) 日医理事会 19 00 第 9 回常任理事協議会	
5	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第 7 回常任理事協議会	20 水	9 10 全体課長会 (事務局) 10 30 奥様医業経営塾 (医協事務局)	↓
			21 木	19 00 県内科医会誌編集委員会	
6	水	10 30 奥様医業経営塾 (医協事務局) 19 00 県内科医会評議員会	22 金	13 30 宮大経営協議会	↑
			23 土	14 30 医師協同組合通常総代会	
7	木	19 00 県警察医会協議会	24 日	15 00 全国有床診療所連絡協議会役員会	
8	金		25 月	19 00 広報委員会	
9	土	16 00 県内科医会総会並びに学術講演会	26 火	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19 00 第 2 回全理事協議会	↓
10	日				
11	月	19 00 産業医研修会	27 水	10 30 奥様医業経営塾 (医協事務局) 15 00 労災診療指導委員会	
12	火	19 00 第 8 回常任理事協議会			
13	水	10 30 奥様医業経営塾 (医協事務局) 16 00 支払基金幹事会	28 木		
			29 金		
14	木	15 00 全国国保組合協会通常総会 19 30 広報委員会 19 30 県産婦人科医会常任委員会	30 土		

都合により、変更になることがあります。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。
 アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎市郡産婦人科 医会総会（5月例会） がん検診（乳） （1単位） （CC 9,11）	5月7日（月） 19 00~ 県医師会館	超音波を使った乳癌検診：読影のポイント まつ婦人科クリニック院長 松 敬文	主催 宮崎市郡産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434
宮崎市郡医師会5 月例会特別講演会・ しのめ医学会 （1単位） （CC 9,73）	5月9日（水） 19 00~ 20 00 宮崎観光ホテル	最近の腎疾患の治療 宮崎大学医学部血液・血管 先端医療学教授 藤元 昭一	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434
第36回宮崎大腸肛 門疾患研究会 がん検診（大腸） （1.5単位） （CC 54,55,57）	5月11日（金） 19 00~ 20 30 県医師会館	下部消化管疾患に対する外科的治療 - 炎症性腸疾患から大腸がんまで - 県立宮崎病院外科医長 池田 拓人	共催 宮崎大腸肛門疾患研究会 武田薬品工業（株） ☎ 0985-24-6763 天藤製薬（株）
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 （1.5単位） （CC 73,74,76）	5月11日（金） 19 00~ 20 45 ホテル中山荘	日本人2型糖尿病の特徴と治療戦略 滋賀医科大学糖尿病・腎臓・ 神経内科学教授 前川 聡	主催 都城市北諸県郡医 師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 日本ベーリンガーイ ンゲルハイム（株） 日本イーライリリー（株）

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会在宅 医療協議会設立総 会・講演会 (1.5単位) (CC 10,13,80)	5月12日(土) 16:00~18:00 県医師会館	在宅ホスピスのススメ - 死と生と希望を支えるコミュニケ アをめざして - 全国在宅療養支援診療所連絡会 九州ブロック会長・ にのさかクリニック院長 二ノ坂 保喜	主催 宮崎県医師会在宅 医療協議会 ☎ 0985-22-5118
宮崎糖尿病治療セ ミナー (1.5単位) (CC 23,76,82)	5月12日(土) 16:15~18:00 ホテルJALシティ 宮崎	DPP-4阻害剤の有用性とシタグリプチン の新たなポジショニング - 当科での使用 経験、及びCGMデータの解析から - (仮) 産業医科大学第一内科学講師 岡田 洋右	共催 宮崎市郡医師会 MSD(株) ☎ 0120-860-744 後援 宮崎県医師会
江南医療連携の会・ 特別講演会 がん検診(乳) (1.5単位) (CC 1)	5月12日(土) 18:15~20:00 KITEN 500円	乳がん治療の進歩 鹿児島大学病院手術部診療教授 吉中 平次	共催 江南医療連携の会 大鵬薬品工業(株) (連絡先) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575
日本東洋医学会九 州支部宮崎県部会 総会 (3単位) (CC 15,73,83)	5月13日(日) 9:00~13:00 宮崎市民プラザ 4,000円(医師) 1,000円(医師以外)	90分で解る漢方自己学習のキーワード 吉富復陽堂医院院長 吉富 誠 総合内科診療所の漢方治療 - 線維筋痛症等の疼痛性疾患 - きよひで内科クリニック院長 河野 清秀	主催 日本東洋医学会九州 支部宮崎県部会 (連絡先) 大森内科医院 ☎ 0983-22-0055
宮崎市郡外科医会 5月例会 (1単位) (CC 1,9)	5月21日(月) 19:15~20:15 宮崎観光ホテル	循環器診療最前線 宮崎市郡医師会病院 心臓病センター長 柴田 剛徳	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 17回宮崎県泌尿器科医会学術講演会 (1.5単位) (CC 1 ,9 ,84)	5月 25日(金) 18 50~ 20 30 宮崎観光ホテル	当院での腎移植の再開を経験して 宮崎大学医学部泌尿器科学助教 上村 敏雄 腎移植後のQOL 東邦大学医学部腎臓学教授 相川 厚	主催 宮崎県泌尿器科医会 共催 アステラス製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科学 ☎ 0985-85-2968
平成 24年度宮崎県外科医会・宮崎県整形外科医会・宮崎県医師会労災部会総会並びに合同学会 (1 単位) (CC 19,73)	5月 26日(土) 15 30~ 17 45 県医師会館	複合性局所疼痛症候群(CRPS)の診断および治療の現状 宮崎大学医学部麻酔生体管理学 講師 田中 信彦	共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会 宮崎県医師会労災部会 ☎ 0985-22-5118
第 14回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー (3 単位) (CC 8 ,12,19,57,61,62)	5月 26日(土) 15 45~ 19 00 シーガイアコンベンションセンター	関節軟骨損傷治療の現状と課題 北海道大学病院スポーツ医学診療科 診療准教授 北村 信人 変形性関節症治療のup to date 京都大学整形外科教授 松田 秀一 スポーツでの膝関節外傷・障害 - up to dateな話題 - 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 福林 徹	共催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710
第 14回宮崎県眼科医会講習会及び保険研究会 (3 単位) (CC 36)	6月 2日(土) 16 00~ 19 00 シーガイアコンベンションセンター 3,000円 (開業医・勤務医) 2,000円 (公的医療機関勤務医)	角膜疾患の外科的治療 最近の進歩 東京歯科大学市川総合病院眼科 教授 島崎 潤 非動脈炎症虚血性視神経症：動物モデル作成と治療への応用 宮崎大学医学部眼科学 准教授 中馬 秀樹	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 参天製薬(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
Asthma control seminar 2012 (1単位) (CC 45,46)	6月8日(金) 19:30~21:00 MRT micc	成人喘息の診療の実際 - 咳喘息を含めて - 名古屋市立大学腫瘍・免疫内科学 教授 新実 彰男	共催 宮崎県内科医会 アステラス製薬(株) ☎ 0985-61-1537 アストラゼネカ(株)
宮崎県痛みを考 える会 (1単位) (CC 61,63)	6月13日(水) 19:00~20:20 ホテルJALシティ 宮崎	関節の痛みとそのコントロール 産業医科大学病院整形外科 准教授 酒井 昭典	共催 宮崎市郡医師会 アステラス製薬(株) ファイザー(株) ☎ 0985-23-9103
第64回宮崎整形外 科懇話会 (1単位) (CC 57,61)	6月16日(土) 17:00~18:00 県医師会館 1,000円	人工骨の開発と臨床応用 国立病院機構京都医療センター 病院長 中村 孝志	主催 宮崎整形外科懇話会 共催 宮崎県整形外科医会 大日本住友製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科学 ☎ 0985-85-0986
宮崎市郡内科医会 総会・講演会 (1.5単位) (CC 76)	6月30日(土) 18:00~21:00 MRT micc	2型糖尿病の病態と長期予後を見据えた 治療戦略 洪内科クリニック院長 洪 尚樹	共催 宮崎市郡内科医会 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成24年5月1日より平成24年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

「はまゆう随筆」原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮ってご投稿をお願い致します。毎年皆様に大変ご好評のようです。

題 材：診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。なお，本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内

締 切：6月30日(土)

投稿項目，タイトル，ご氏名を先頭に付記して下さい。

ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として原稿はお返し致しません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

原稿の内容については，人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス(genko@m iyazaki.m ed.or.jp)宛お送りください。もちろん，それ以外の方法(FAX ，郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

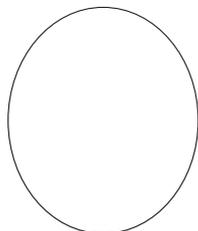
E m ail:genko@m iyazaki.m ed .or .jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

原稿送付の際は，他の原稿との混同を防ぐため「はまゆう随筆」である旨とタイトル，ご氏名を明記の上お送りください。

診療メモ



医療現場でのスマートフォンの活用

宮崎大学医学部附属病院医療情報部 やま山 ざき崎 とも友 よし義

1. 電子カルテへのスマートフォン導入の目的と経緯

宮崎大学医学部附属病院(宮崎大学病院)は、診療業務補助として携帯情報端末(PDA)を用いたベッドサイドで患者認証や観察項目結果・注射実施の看護入力業務を行える電子カルテシステム(CUMNAVI)を独自に開発し、2006年5月より外来・病棟で運用している。2011年5月から運用を開始した新CUMNAVIでは、市販の 안드로이드スマートフォンを用いて電子カルテに連動した診療業務が行えるシステム(WATATUMI)を同時に開発・導入した。WATATUMIの開発・導入は入力業務の軽減とともに、医療専門職の間でのリアルタイムな情報共有によるコミュニケーションの促進を目的とした。

2. スマートフォンの運用現況

2012年9月末をめどに、図1に示すWATATUMIの全機能を運用可能にする予定である。スマートフォンは、宮崎大学病院に勤務する

医師は全員(350台)、看護師は病棟・外来を含めて日勤勤務者を配布対象としている。2012年3月の時点での配布台数は、看護業務従事者を対象として250台である。今後、WATATUMIの機能で医師・看護師以外が利用できる機能を運用可能になった時点で、他の医療系職員へ配布を予定している。

看護師が行う患者認証や注射薬剤オーダーは、リストバンドや注射ボトルに印刷したバーコードをスマートフォンのカメラで連続的に取り込み、認証している。

患者の観察項目のスマートフォン入力は、CUMNAVIに連動した表示画面に基づいて行われている(図2参照)。登録後の入力内容の修正はCUMNAVIでしか行えず、スマートフォンには患者のデータを保存しないことを原則としている。写真撮影のデータも同様であり、撮影後ただちにCUMNAVIへ転送され、スマートフォン本体には残らない。

文書参照・承認は文書一覧画面より文書を

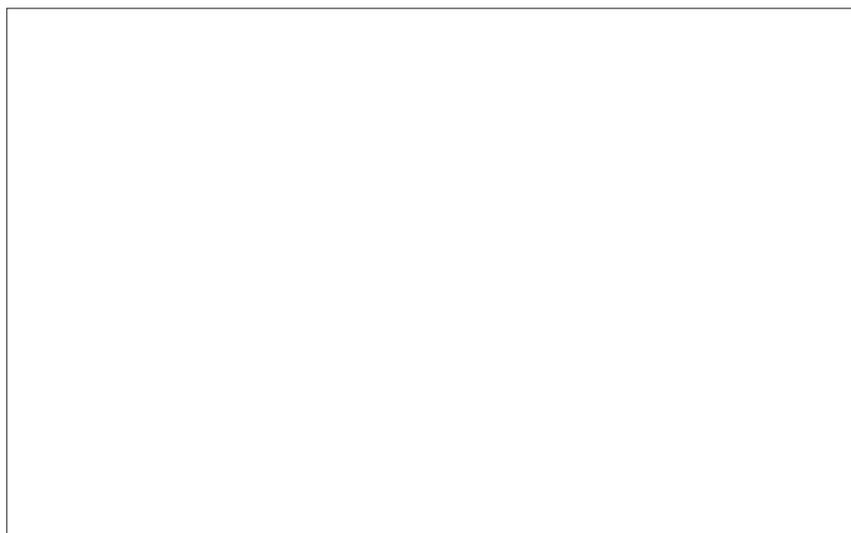


図1 WATATUMIの機能(スマートフォンで行う業務内容)

選択すれば、参照・監査・承認ができる(図3参照)。

操作はディスプレイ上のタッチパネル方式で行われ、タップ、スライド、フリック、ピンチイン・アウトなどのスマートフォンの特徴的な操作方法を活用した。

検査歴の表示画面は、検査オーダーごとに表示し、オーダーを選択すると検査項目ごとに表示する。検査結果が設定した正常値領域を外れると、表示色が変わる。検査項目を選択(複数も可)し、時系列をタップすれば選択した項目の時系列を表示し、グラフをタップすると、時系列で検査結果をグラフで表示する(図4参照)。

3 .スマートフォンの導入効果

看護入力業務はPDAと比べ、入力業務の負荷が減少し、利用者(看護師)へのアンケート調査は、携帯性、操作性、視認性の項目で高い評価を得た。医師への配布は2012年5月中旬を予定している。

4 .今後の展望と医師業務への活用

WATATUMI の導入により、医療専門職は

ベッドサイドなどの電子カルテ端末が設置されていない場所で、医療に必要な情報を、電子カルテより獲得することを可能にした。しかし、4インチの画面では、文書の参照は可能だが、文書入力には容易でない。2号用紙や指示(口頭も含む)などの文書作成業務は、10インチタブレットで行うシステム開発を始めている。

さらに、タブレットを用いるシステムでは、専門医や医療専門家がベッドサイドで行う指導の支援、患者の引き継ぎを支援、救命救急センターでの記録を簡便にできるシステムも開発する予定である。

2012年4月以降、WATATUMI は院内電話(PHS)や宮崎大学病院のグループウェア用端末機能を充実させていく。これらの機能を用いて「いつでも、どこでも、だれでも」が利用できるユビキタス環境を構築し、医療専門職の間で医療情報の共有・活用を促進させ、宮崎大学病院で提供する医療の質を向上させていく予定である。

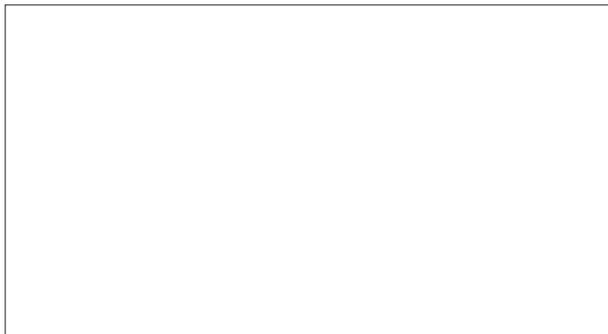


図2 スマートフォンの看護業務操作画面の例

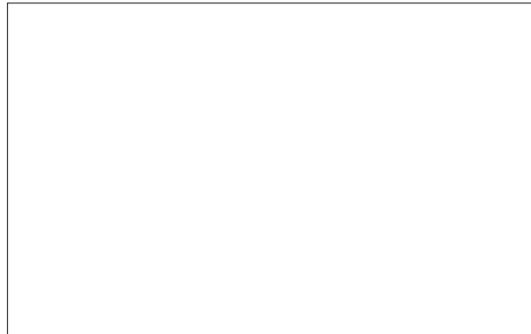


図3 文書参照・監査・承認画面の例

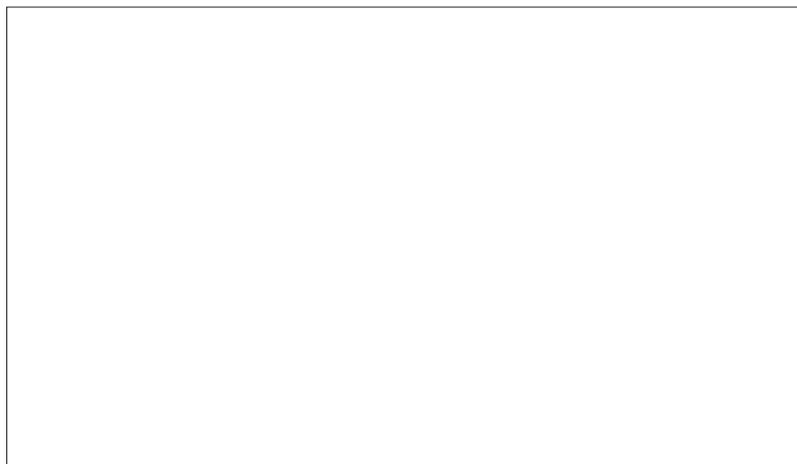


図4 スマートフォンでの検査履歴表示の例

お知らせ

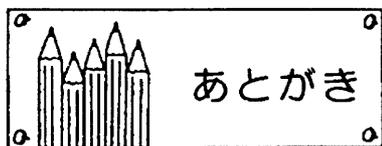
県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名
4月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・「臨床研究に関する倫理指針」の周知徹底について ・被保険者証の更新について ・救急救命士国家試験の実施時期等の早期化について
4月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立支援医療費の支給認定について」(自立支援医療費の支給認定に係る実施要綱)の一部改正について ・日本脳炎ワクチン接種に係るQ & A(平成24年3月改定版)について
4月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮崎県新型インフルエンザ対策行動計画」(新型インフルエンザ対応指針第5版)の改定について(通知) ・平成24年度日本医師会会費徴収について ・日本医師会会費減免の手続きおよび会費減免をうけるA, A(B), A(C)会員の医賠償保険加入の手続きについて
4月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年4月介護報酬改定関連通知等の送付について(その2)
4月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本医師会 臨床研修医支援ネットワーク」パンフレットの送付について ・学校における結核検診について
4月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・水俣病総合対策医療事業における保健手帳(青色、紫色または水色)の失効について(重要なお知らせ) ・「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」の一部改正について ・「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について ・各がん検診実施機関等登録(指定)名簿について(送付) ・平成24年度(前期)助成公募のご案内(在宅医療関係) ・学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について
4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」(平成24年7月14日～15日)の開催について ・宮崎県特定健診・特定保健指導に関する実践者育成研修会の開催について(依頼) ・「認知症対策等総合支援事業の実施について」の一部改正について」の送付について ・「医療保険の特定疾病療養受療と自立支援医療を併用する者の自己負担について」の一部改正について ・「指定自立支援医療機関の指定について」の一部改正について

送付日	文 書 名
4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急医療体制の整備に関する指針について ・精神科救急医療体制整備事業の実施について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度 がん検診推進事業の実施について ・精神障害者地域移行・地域定着支援事業の実施について ・喀痰吸引等研修実施要綱等の送付について ・介護保険法施行規則の一部を改正する省令の施行について(要介護認定に係る有効期間の延長) ・構造改革特別区域における「特別養護老人ホーム等の2階建て準耐火建築物設置事業」の全国展開について
4月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について
4月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・抗血小板剤及び X I E N C E P R I M E 薬剤溶出ステントの適正使用について ・財団法人日本医療機能評価機構薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第6回集計報告の周知について ・患者からの医薬品副作用報告の試行開始について ・独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)の「医薬品・医療機器情報提供ホームページ」周知に係るご協力をお願い ・クリゾチニブ製剤の使用にあたっての留意事項について(通知) ・消費者行政担当部局から提供された美容医療サービスに関する情報への対応について(通知) ・「臨床研究に関する倫理指針」の周知徹底について(通知) ・「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」(日本製薬工業協会)について

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	a, d	b	b	a, b, c	c	b	b	a	c



今年度から広報委員会委員長を務めさせていただくことになりました。当委員会は担当副会長の富田雄二先生、担当理事の青木洋子先生、副担当理事の荒木早苗先生をはじめ、医師 8 名（開業医・勤務医）、医学部学生 4 人（4・5 年生）で構成されており、毎月 2 回に分けての広報（日州医事編集）委員会と原稿校正委員会が主な活動内容です。今年は学生さん 1 人を含む 7 人の新メンバーを迎え、宮崎県医師会の会報誌であるという基本を踏まえつつ、刻々と変化する世相や価値観、その時代に応じた新しい感性を日州医事に反映できることを期待しています。平成 19 年 6 月からこれまでに 3 回、「宮崎の医療を考える会（若手記者との勉強会）」を開催し積極的に県民、報道機関に対し情報を発信してきました。当時は熱病のような医療界へのバッシングが凄まじく、報道される事実も決してすべてが真実ではなく、県医師会からの積極的な情報提供やアンケート調査結果の公表によるデータに基づく実態の提示と我々の声に対し、宮崎県の報道機関は意外にも真摯に耳を傾けてくれたことを記憶しています。現在の日本は政治、経済などまさに混沌としており、すでに医療問題は介護や年金などの国内の社会保障問題の枠にとどまらず、税制や TPP 問題などを絡めた国際的な観点で議論される時代になりつつあります。話は変わりますが、今年は宮崎駅の東口にある宮崎中央公園で花見（夜桜）をしました。BBQ に予約して場所取りや準備の煩わしさは一切なく、周囲はまるでお祭りのような雰囲気。ライトアップされた桜に見下ろされるながらのビールは格別で、参加者全員一致で毎年恒例行事に決定しました。（尾田）

昨年この欄でも紹介しました、私が勤務する病院の基幹型臨床研修病院指定取り消しの件。おかげさまで来年度以降も指定を継続していただくことが正式に決まりました。4 万名の署名をお寄せいただきましたが、半分以上は医師会や連携する開業医の先生方、看護協会など様々な方々のご協力の賜です。そもそも「地域に求められる医師の養成」がスローガンの研修プログラムです。更に気を引き締めて研修制度を充実させたいと思います。ありがとうございました。（上野）

4 月から広報委員となりました。更に運動不足解消に、自転車通勤用に昨年 9 月に買っていただいた自転車で「試み」の通勤をしてみました。長年の運動不足がたたり、平坦な道でもママチャリに抜かれる、坂道では学生の立ちコギに負ける。情力走行が多いので、6 km の道のりを 25 分程度のペースでの走行です。それでも、肩や、腰が痛くなり、最悪な条件であとがきを書いています。1 年後には、体調もよくなり、体重も減り、それなりの報告ができることを予定しています。新米の広報委員ですが自転車同様ぼちぼちやっていきますので宜しくお願いします。（篠原）

このたび広報委員を拜命しました県立宮崎病院内科の姫路です。日々医師として病院という医療現場に身を置いていると、医療は日常生活の一部です。しかし、患者さんやそのご家族にとっては、とても不安で、わかりにくいものだと思います。医療とはみんなと一緒に患者さんのからだや生活のことで大事にして、考えていく取り組みであることを現場から発信していきたいと思います。（姫路）

この間、テレビで大手外食チェーン店の研修風景が特集されておりました。研修は合宿形式で、期間中は携帯電話はつかえず、テレビ、新聞、酒、タバコは一切禁止。声が小さいと怒鳴られ、社訓を暗唱させ、数秒以内で言えなければ何度もやり直し。かなり厳しいものでした。しかし、インタビューを受けた社員の方はこれくらいしないと社会人としての自覚が芽生えないとおっしゃっていました。私自身この四月から 5 年生となり、実習で病棟を回るようになりました。今までのだらけた学生気分から脱却する良いチャンスだと思い、社会人としての自覚を持ちつつ実習にのぞんでいきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。（藪内）

五年生になり臨床実習が始まって三週間、初めてのことばかりで日々慌ただしく過ごしています。そのため全く走れないまま、先日九山陸上部門の試合に参加してきました。スタートするまでは不安しかありませんでしたが、結果はどうあれ全力を尽くそうと他の五年生と誓い、なんとか乗り切ることができました。やっぱり陸上は楽しいですが、忙しいながら実習も楽しく、学校問わず同じ状況の友人と共感できるこの生活を満喫していきたいなと思っています。（湯淺）

4 月から広報のお手伝いをさせていただくことになりました。耳寄りな情報がありましたらお知らせしたいと思っていますので宜しくお願いいたします。毎週金曜日には県医師会のホームページで最新の感染症情報をご覧になることができます。診療のお役にたつと思いますので本誌の感染症情報とともにご利用ください。（青木）

今月のトピックス

各都市医師会だより

宮崎市郡医師会と都城市北諸県郡医師会は今年4月より新体制となります。宮崎市郡医師会長の川名隆司先生と都城市北諸県郡医師会長の飯田正幸先生から、新執行部の紹介と会長就任に当たってのご挨拶をいただきました。 10ページ

お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集

日州医事7・8月号に毎年夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画します。今回もテーマは設定せず、診療閑話、趣味、旅行記、スポーツ談義、詩、短歌、俳句など何でも結構です。皆様のご寄稿を心よりお待ちしております。 51ページ

診療メモ 医療現場でのスマートフォンの活用

宮崎大学医学部附属病院では電子カルテシステム(CUMNAVI)を独自に開発し、2011年5月に市販の 안드로이드スマートフォンを用いて電子カルテと連動した診療業務が行えるシステム(WATATUMI)を導入しました。これにより電子カルテ端末が設置されていないベッドサイドなどでも医療情報の入力・閲覧が可能となり、リアルタイムな情報の共有と活用による医療の質の向上が期待できます。医療情報部の山崎義技師が操作画面の実例を示しつつ紹介してくださいました。 52ページ

日 州 医 事 第 753号 (平成 24年 5月号) (毎月 1回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副 委 員 長 上野 満, 黒川 基樹

委 員 篠原 立大, 姫路 大輔, 藪内 悠貴, 湯浅美紗子

釜付 弘志, 沖田 和久, 大野 妙子, 前田 雄洋, 陣門 洋平

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 青木 洋子, 荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 35円 (但し, 県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)
